

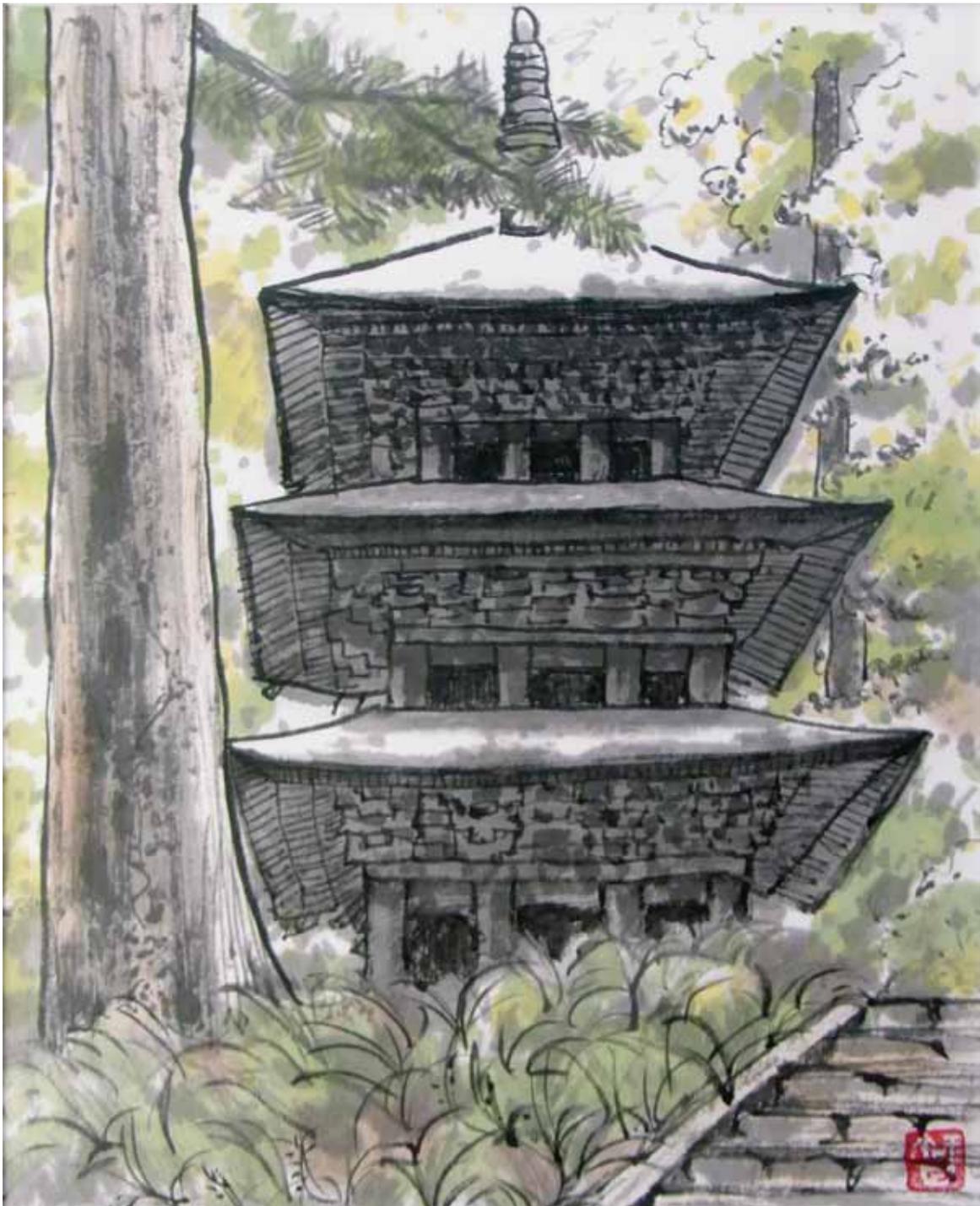
「建築士」平成22年12月1日発行No.699号付録

いわき建築士

IWAKI-KENCHIKUSHI No.28 2010

平成22年12月1日発行
社団法人建築士会いわき支部会誌

December



高蔵寺 三重塔

特集テーマ

鉄人・木人・土コン人

支部長挨拶 「心機一転」

(社)福島県建築士会いわき支部長
(有)蛭田修二建築設計事務所 所長



蛭 田 修 二

記録的猛暑の夏も過ぎ落ち着きを取り戻した季節を迎え、会員の皆様には益々ご清栄のことと存じます。

今年も半ばを過ぎ会の事業も順調に推移しております。これも会員各位の協力と委員長の指導力のおかげと感謝申し上げます。会員の資質の向上と会員拡大を目的として、事業・講習委員会及び青年・女性委員会合同で開催している定期勉強会も定着してまいりました。聴講者が魅力を感じるテーマの選定や講師の手配などご苦労様です。また、会員以外の方々への広報もされているようで毎回非会員の参加者が見受けられます。このような地道な活動が会員拡大に繋がると同時に、建築士会が目指す基本的事業として定着して欲しいと願っております。

毎年恒例の「そば道場」も会員委員会の主管のもと開催され、今年も会員や奥様方の打つそばを堪能いたしました。また、同委員会が毎年担当し参加をしております全国大会は今年佐賀県、佐賀市文化会館で10月22日（金曜日）に開催され、いわき支部より9名参加しております。4年後の2014年には昭和49年の第17回大会以来の「福島大会」が予定されております。来年度には県本部に実行委員会が組織され本格的な準備に入ることとなります。全国大会も連合会や主管する地元建築士会の財務状況の厳しさに加え、大会を支援してきた地方公共団体や地元企業などの財務も厳しく、これまでの補助金や協賛金などが期待できる社会状況でない事など会を取り巻く環境が変わってきていることから、現在、今後の全国大会の運営方法について連合会で検討に入っております。その基本方針（案）として2日間の開催を1日大会とする、予算規模は連合会交付金・ブロック負担金・参加者自己負担金の範囲内で行う、行政・民間企業・団体等からの協賛金については過度の負担を求めない、懇親会の開催及び物産展の運営については主管県に一任する、などが挙げられています。建築士会の現状を考えれば当然とは思いま

すが、やや寂しい感じがいたします。

4年後の全国大会に先駆け、来年6月に開催される県大会をいわき支部が主管し開催する予定です。現在総務委員会を軸に開催会場の選定や「いわきらしさ」を演出した大会にすべく準備しており、概要がまとまり次第、実務的な準備に入りたいと考えております。セレモニー的な総会ではなく、県内17支部の年1回の実りある交流の場を演出出来ればと思いますので会員のご協力と参加をお願い致します。

総会のあり方を検討しなければならないほど厳しい現況の中、次世代の若者を対象とした事業が連合会で企画され今年実施されました。将来の日本の建築を担う建築教育課程にある工業高校・高等学校の生徒を対象にしたコンペ「建築甲子園」です。建築教育の現場に携わる教員とものづくりを学ぶ生徒が協働しテーマにそった成果を各建築士会へ応募する。建築士会単位で審査（県予選）を行い、勝ち上がった作品が県代表として連合会（全国選手権）へ提出され優勝が決定するシステムです。ちなみに今年度のテーマは「地域の歴史、環境、景観などを生かした住まいの提案」で、県内より、福島工業高校から1点、会津工業高校から3点の計4作品の応募があり、審査の結果、会津工業高校の「夢追う人の集合住宅」が選出され連合会（全国選手権）に提出されました。生徒が夢や想像を「もの」へと造り上げていく過程で、創造する喜びや発想力の向上を図ると共に、将来信頼される建築技術者として技術や知識はもちろんのこと技術者としての倫理観などを育む場となり、将来の建築士会の一員として活躍されることを望んでおります。

以上のように連合会においても会員減少に伴う諸問題を解決するための施策を様々検討しております。我々も専攻建築士や応急危険度判定士への登録を通じて地域社会への貢献活動ができる団体の一員として、会員一人一人が責任ある活動が続ける事が今求められています。会員相互の連携を強め地域に求められる建築士として活躍されることをお願いいたします。

住宅履歴情報（既存住宅流通活性化等事業）について

（財）ふくしま建築住宅センター
いわき事務所 所長

福 地 和 博



私が、昨年（第27号）に投稿しました「住宅基本法と長期優良住宅の関係について」の中で記しました住宅履歴情報に関して新たな情報（既存住宅流通活性化等事業）がありましたので、再度、「住宅基本法と長期優良住宅」について復習し、「既存住宅流通活性化等事業」の概要を説明し、住宅履歴情報の今後について考察したいと思います。

平成18年6月に「住生活基本法」が策定されましたが、その施策内容としては、

- I 良質な住宅ストックの形成及び将来世代への継承
- II 良好な居住環境の形成
- III 国民の多様な居住ニーズが実現される住宅市場の環境整備（住宅の取引の適正化、流通の円滑化）
- IV 住宅の確保に特に配慮を必要とする方々の居住の安定確保（住宅困窮者に対する住宅セーフティネットの構築）

の4本の柱があり、また、これまでの住宅政策は国が中心となって進めておりましたが「住生活基本法」においては、①地方公共団体、②民間供給事業者、③消費者の3つの主体が、住宅マーケットを担っていくことを目指し、国、地方公共団体、住宅関連事業者、居住者などの関係者それぞれの責務を定めており、また、平成21年6月4日に施行されました「長期優良住宅の促進に関する法律」による長期優良住宅は、「造って壊す」消費型社会から「良いものを造って、きちんと手入れをして、長く大切に使う」循環型社会へ転換するという理念が明記されており、上記の①が公営住宅等を建設する市町村、②が「長期優良住宅」認定基準（性能表示基準）に基づき建設を促進し、また、住宅履歴情報等を整備する民間供給事業者（工務店さん等）、③が「長期優良住宅」維持管理計画に基づき定期的に点検し、住宅履歴情報等を管理する消費者（建築主さん等）と「住生活基本法」の目的、責務は、「長期優良住宅」の役割と一致しており、法律を策定する人の優秀さに感心するばかりでしたが、「既存住宅流通活性化等事業」においても「住生活基本法」に合致

しており驚いているところです。

「既存住宅流通活性化等事業」は、住宅ストックの品質向上及び既存住宅の流通の活性化を図ることを目的として、既存住宅の売買又は住宅リフォーム工事の実施に際し、国が事業実施に要する費用の一部を補助するものであり、要件としては次のとおりです。

1. どんな住宅（いつ建設された住宅）が補助対象となるの？
昭和56年6月1日以降に建築確認を受けて建設され、平成12年3月31日以前に竣工したものの。
2. どんな工事が対象となるの？
 - ①住宅の性能を維持・向上させるためのリフォーム工事を行うこと。
 - ②保険法人の検査（構造+雨水防水+リフォーム工事部分）に合格し、瑕疵担保保険に加入すること。
 - ③住宅履歴情報の登録又は蓄積を行うこと。
3. どれくらい補助金（これが問題だ）が出るの？
 - ①保険加入のための現場検査手数料等、住宅履歴情報の登録又は蓄積に要する費用。
 - ②リフォーム事業は、工事タイプ（売買を伴うか、伴わないか。構造又は雨水防水工事を含むか、含まないか。）により異なりますが、1戸当たり100万円という限度額があり、また、1事業者に対しての限度額（5,000万円）もあります。
4. どうやって申し込めばいいの？
 - ①事業者公募へ応募する。（平成22年度の第1期の事業は、5月31日締め切りでしたが、第2期募集があると思われますので？今後に期待してください。）
 - ②応募により、事業者として採択された方々は、9月末まで契約を締結したものが補助対象となります。

その後は、③補助金交付申請、④事業実施報告、⑤完了実績報告と一連の流れで進行しますが、リフォーム保険を利用する場合は、「リフォーム事業者登録」の必要があり、「まもりすまい保険 届出事業者様による登録申請」は、15,790円、それ以外の事業者様に

よる登録申請は、26,250円となります。

登録料が多少かかったとしても、100万円の補助金（現場検査手数料等も含まれます）が出れば、この厳しい時代においては大変良い事業であると感じており、「知っている知らない」とでは、大きな差が生じるのではないかと考えております。そこで一句、「知っているが得をする。知らないが損をする。そんな時代だ。現世は。」字余り。

長期優良住宅、及び既存住宅流通活性化等事業については、前もって登録をする必要がありますので、国土交通省のホームページに目を通し、新しい情報の確認をすべきと思います。

さて、なぜ、今、「住宅履歴情報」なのかではありますが、昔は、住宅そのものより、土地を持っていけば間違いのない、末裔まで万全であるという「土地神話」がありました。

しかし、平成2年にバブルが崩壊し、株式と不動産の下落が始まり、現在では、ピーク時の7割程度まで下落してしまい、投機の対象とはなりません。今後も、人口減少や低い経済成長率の元で、地価を上昇させる要因はまったくなく、バブルと共に土地神話は「夢のまた夢」になってしまいました。

しかし、土地に替わるもの（投機対象となるもの）が何か無いと日本経済（不動産業界）が疲弊してしまうため、土地から住宅（既存住宅も含む）へと転換してきたものと解釈しております。欧米では、土地の価格は無く、住宅に価値を求めており、100年も大切に住み継がれて来ております。わが国の住宅政策においてもこの欧米の住み継ぎに習い、世代にわたって住み継いでいくための準備段階（住宅ストックの品質向上及び既存住宅の流通の活性化）に入ったと感じております。

住宅履歴情報とは、住宅の設計、施工、維持管理、権利及び資産に関する情報であり、いつ、誰が、どの

ように新築や修繕、改修等を行ったかを記録した住いの「履歴書」であり、この履歴書があると①計画的な維持管理ができる。（竣工時の仕様の情報や過去に実施された維持管理の情報が明らかになるため、必要な維持管理を計画的にかつ効率的に実施できる。）、②合理的なリフォームができる。（住宅履歴情報を活用し修繕、改修・リフォームの計画を立てることができ、的確な予算・工期で合理的なリフォームが実現できる。）、③売買に有利？になる。（設計、施工、維持管理等の情報がある住宅は、既存住宅として売買する時に、安心・納得して売買できるだけでなく、住宅の資産価値が適切に評価される。）④災害時の迅速な対応ができる。（災害時に住宅履歴情報に基づいて迅速かつ適切な復旧や補修ができ、また、設備機器等に不具合が出て交換等の対応が円滑に実施できる。）等のメリットがありますので、住宅履歴情報を新築時は「長期優良住宅」で、既存住宅は「既存住宅流通活性化等事業」により、蓄積・活用し、既存住宅の所有者が替っても情報が引継がれ、「住宅基本法」の4本の柱の一つである「国民の多様な居住ニーズが実現される住宅市場の環境整備」（住宅の取引の適正化、流通の円滑化）に繋がります。

また、住宅履歴情報の蓄積・活用を支援する情報サービス機関が保存・管理業務を開始しましたので、「造って壊す」消費型社会から「良いものを造って、きちんと手入れをして、長く大切に使う」循環型社会へ転換するという大きなうねりを感じており、今後は、どんな住宅でも住まいの「履歴書」を持つようになるのでは？と考えております。

住宅履歴情報は、リフォームをする場合は、工務店さん、リフォーム業者さん、売買する場合は、不動産業者さんが関わりますので、皆様と情報を共有しながら、循環型社会（豊かな住まいと暮らし、安全安心のまちづくり）を目指してまいりましょう。



ゴマメのツイッター

神は細部（ディテール）に宿るとは建築設計の有名な格言である。ならば単純なものにも宿っているとさえそうである。鉄や木や土や石、その他の多くの自然物にも。自然物を扱えるのは幸福な仕事と言える。報いが少ないことも幸福である。最後の最後までモチベーションを維持しなければならぬのだから。日本は八百万の神の国でヨカッタ。（ゴマメはカタクチイワシの素干し）

鉄人・木人・土コン人

第28号のテーマは昨秋の広報委員会で簡単に決まった。老若男女の集合体である広報委員の比較的若い委員からの発言であったのは意外であった。

漫画「鉄人28号」は昭和30年代前半の漫画週刊誌が次々発刊になった頃の、漫画黄金時代の初期に始まった。原作・画 横山光輝氏^註で、同時代の「鉄腕アトム」が人工頭脳(コンピュータのより進歩したもの)を持つ人型(人並み)ロボットであるのに対して、「鉄人28号」はリモコン操作による巨大ロボットで、鉄人の名が示す様に装甲の厚さが強さを示す時代かかった設定になっている。後の時代に登場する合体ロボット(マジンガーZ等)の様に人間が中に入って(乗って)コントロールすることも出来ない。なにしろリモコンを敵に奪われてしまうと、「鉄人」は悪役になってしまうという厄介な代物であった。

鉄人と同時代の映画のヒーロー「ゴジラ」「モスラ」「ガメラ・キングギドラ」、合体ロボットと同じ時代に人気を博した「ウルトラマン」や敵役の宇宙人は、生き物の突然変異と宇宙生命であり、その後の仮面ライダー等は機械より、もっと進んだ人工生命になっている。機械ロボットである「アトム」や「鉄人28号」とは全く異なるキャラクターである。

「鉄人28号」がより異質なキャラクターである理由は、「鉄人」の設定が戦前・戦中に旧日本陸軍の秘密兵器として開発された事による。「鉄人」は戦艦「大和」「零戦」等に近いのである。試作品としての28号より若い番号のロボットがあった事になる。話が建築からどんどん離れてしまったのですが、なんとか本筋に戻る努力を試みます。

今話題の電気、ハイブリット車は言うに及ばず、一般の化石燃料燃焼自動車にもコンピュータが搭載

されているらしい。人間の操作とPCの判断により最近の新車は走るらしい。大型交通機関「飛行機・新幹線・都市交通」等は基本的にPCに頼って、安全を最優先に動かされている。となると建築物だってPCに管理される事になるはずで、既に最近のビルテックはそうなっている。EV・空調・セキュリティ・照明等。

建築物自体は移動しないけれども、内部では人間が活動し、移動し、物品が移動し、エネルギーが消費され、情報が交錯する。都市は益々巨大なエネルギーの消費、物質と情報の集積場所になる。また地球的巨大エネルギーの発散である大地震に都市・建築物が遭遇してもより安全にやりすごすためには、PCを頼りとする事が大である。

「鉄人・木人・土コン人」のテーマは、それぞれの材料とそれを取り扱う、扱いを得意とする技術者の、今の心境と将来に対する期待を考えて頂けたらとの思いです。

そしてその先の建築の進歩、未来将来について考えていただきたいと思います。

為政者に嫌われ、国民から興味を持たれず、落日の失意の日々をお過ごしの方々に、高度成長期の黄金の日々を思い出して頂きたく、青春の日々に思いを馳せて頂きたく思います。元気の源となり、より多くの需要を掘り起こすきっかけになってくれれば幸いです。

鉄腕石アタマ

注

伊賀の影丸などの少年向と、魔法使いサリー、コメットさん等の少女向けもこなし、晩年は「三国志」等の歴史物でも人気を博した。

空き家を活用して地域を元気に！



福島県土木部建築指導課
専門建築技師

新 関 永

【はじめに】

皆様こんにちは。今年の2月に(社)福島県建設業協会はじめ9団体で「ふくしまの家地域活性化推進協議会」を立ち上げ、建設業と地域の活性化に向けて各種事業に取り組んでいます。私は、事務局担当として、この事業を進めるため県内各地で「空き家」を探していたところ、建築士会いわき支部の渡辺智恵子さんや陽田秀夫さんに大変お世話になりました。そんな縁でここにその事業について紹介させていただきます。

【事業のはじまり】

建設業は、地域産業の中心であり、地域コミュニティのリーダーとしての役割を担ってきましたが、近年の長引く不況の中、大変厳しい状況にあります。そこで国土交通省は、建設業が農業、林業、観光業など異業種との連携や復業化等により、活力の再生や雇用の維持・拡大、さらには地域の活性化を図ることを目的として、平成20年度に「建設業と地域の元気回復助成事業」を創設し、平成21年度にわたり2回提案を募集しました。

その結果、全国で157の事業が採択され、そのうち、福島県においては7事業が採択されました。当協議会が提案した次の事業はその中の1つです。

- ①事業名：「古民家等空き家を活用して地域を元気にする事業」
- ②事業主体：ふくしまの家地域活性化推進協議会
- ③構成員：(社)福島県建設業協会、(社)福島県建築士事務所協会、(社)福島県宅地建物取引業協会、(社)全日本不動産協会福島県本部、NPO法人超学際的研究機構、会津大学短期大学部、福島県木材協同組合連合会、福島県耐震化・リフォーム等推進協議会、福島県
- ④事業期間：平成22年1月15日～平成23年2月10日
- ⑤事業費：約2,000万円

【事業の背景】

福島県は、首都圏からの程よい距離、地価の安さ、

田舎らしさなど、移り住みたいとの人気度が高く、特に、古民家に住みたいという需要が高いものの、古民家等の空き家は、暗く、寒く、汚く、実際の住まいとして提供されている事例は少ない状況にあります。

そこで、この事業では、各地で増えている古民家、町家、蔵などの空き家を活用して、二地域居住（田舎暮らし）生活体験施設として活用できないか、また、地域活性化の拠点として活用できないか模索して、建設業の振興と地域の活性化を目指すものです。

【事業の目的と具体的な取組み】

事業の目的は、先にも述べたとおり、建設業の異業種連携による活力再生と地域の活性化ですが、もう少し具体的に言うと次の3つとなります。

- ①建設業と観光産業が連携した「二地域居住の促進」
- ②建設業と地域住民が連携した「まちづくり（まちおこし）運動の推進」
- ③建設業と林業が連携した「地域木材の利用促進」

それでは、これら3つの目的ごとに、主な取組みについて御紹介します。

- ①県内5棟の空き家を借り上げて、本県で田舎暮らしをしたい方へ、生活体験モニターとして無料で長期（1ヶ月～3ヶ月程度）住んでいただいています。



喜多方市



浪江町



いわき市



三島町



相馬市

- ②県内3棟の空き家を題材として、地域活性化のためにどう活用するかプロポーザルを行い、最優秀案を基本設計としてまとめることとしています。（将来改修となることを期待して…）



伊達市霊山町上小国地区



天栄村湯本地区



白河市本町地区

8枚の写真でも分かりますが、県内にはりっぱな伝統的建築物が空き家となっていることに驚かされます。

③今年の5月に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が交付され、10月に施行されました。しかし、この法律が実効されるには、数々の大きな課題を抱えています。その1つに発注形態があります。通常の一括発注では、地域木材の供給体制が整わないことがあります。

そこで、林業、製材業、建設業、そして発注者が課題に対して共通の認識をもって、地域木材を活用した木造建築物の建設が促進されるよう、セミナーや先進地調査を実施しています。



地域木材を活用した
栃木県茂木町茂木中学校

以上が主な取り組みですが、詳しい事業内容と結果については、HPでも紹介しています。「住んでみんかドットネット」で検索してみてください。

【まとめ】

現在、各地でまちづくり運動が展開されています。その1つとして交流人口を増やして、まちを元気にしようとする取り組みがあります。それにはまちの個性や魅力が必要不可欠になります。個性や魅力は伝統や文化とも言えるでしょう。伝統や文化を大切にしている地域は、個性や魅力にあふれています。

また、古民家は、地域の産業や気候、歴史をそのまま形に反映しており、土間、いろり、続き間、縁側、前庭は人を呼び集める多くの術^{すべ}を備えています。また、町家や蔵は、非日常的な異空間です。まさに地域の個性や魅力の塊です。

そして、これらの魅力を情報発信できるのは建築士だと思います。地域に残る伝統建築物を活用して地域を元気にしてみませんか？

今、建築士には、建築をとおしてまちづくり（まちおこし）という新しい重大な役割が期待されていると感じています。

【蛇足ですが…】

残念ながら、現在、住宅はカタログや展示場を見て「買う」と言われています。しかし、古民家や町家、蔵での個性と魅力ある住まい方（大袈裟に言うなら「地域の伝統技術と住文化」）を多くの人に伝えることは、大工さんや建築士と「造る」時代へ（少し前には当たり前でしたが…）、もう一度引き戻してくれそうな気がします。

「消防戦士 住警器マン」登場！

いわき市消防本部
予防課長

渡 邊 光 男



皆さんは「住宅用火災警報器」ということばを、テレビやラジオあるいは広報誌等で見たか聞いたかしていると思いますが、すべての住宅に設置義務となる時期が迫ってまいりました。このたび建築士会いわき支部様からのご厚意により寄稿する機会を得ましたので、消防が現在最重点事業として取組んで

いる住宅用火災警報器の設置推進について述べさせていただきます。

1 警報器設置義務化の経緯について

全国の住宅火災における死者数は、平成15年以降連続して1,000人を超える高い水準で推移しており、

このうち 65 歳以上の高齢者が占める割合は約 6 割と
なっていることから、今後の高齢化の進展とともにさら
に増加することが懸念される状況にあります。

このため、平成 16 年 6 月に消防法が改正され、平
成 18 年 6 月以降の新築住宅に住宅用火災警報器（以
下「住警器」という。）の設置が義務付けられました。
既存の住宅については、5 年間の猶予期間を設け、平
成 23 年 6 月から適用することとしたものであります。
なお、本規定は、個人の責任の範疇であることから、
違反に対する罰則規定は設けておりません。

2 これまでの取り組み等について

本市の平成 17 年から 21 年までの 5 年間の火災発生
件数は、年平均にすると 121 件で、このうち建物火災
が 57% を占めており、さらに建物火災のうち住宅火
災の比率は 71% と高い割合を占めております。また、
同 5 年間における住宅火災による死者数は 31 人で、
このうち高齢者は 16 人となっており、全国平均の高
齢者の占める割合の約 6 割を若干下回るものの、ほぼ
同様の傾向にあります。

住警器設置先進国のアメリカでは、年間約 6,000 人
の住宅火災による死者が発生していましたが、1970
年代後半に住警器の設置が義務付けられ、現在は普及
率が 95% を超え、死者数も 2,590 人と半減以下とな
っており、住警器の設置は死者の低減に大きく貢献する
ことが実証されていることから、消防本部及び各消防
署においては、逃げ遅れによる死者を一人でも減らす
ための各種施策を年間を通して推進してきましたの
で、その主なものについて次に記載します。

(1) 住警器設置促進強調月間における取り組み

平成 19 年から毎年 5 月を住警器の設置促進強
調月間として位置づけ、不動産賃貸事業所への働
きかけによる賃貸住宅の設置の促進や、自主防災
組織等への共同購入の説明、さらに、一般市民に
対するさまざまな広報活動を実施するなど、全職
員が一丸となって、住警器の設置普及に取り組ん
でいます。

(2) オリジナルキャラクターの寸劇による広報

住警器のさらなる設置促進を図るために、新た
なヒーロー「消防戦士 住警器マン」を平成 21
年 11 月のいわき産業祭でデビューさせました。
宿敵である「寝タバコマン」との対決では「お前

の悪事は天井からすべてお見通しだ」と警報ブ
ザーで撃退。会場に集まった市民に「まだのおう
ちは早くつけてね」と呼びかけました。その後も
各種イベント会場に出動し、住警器の設置促進に
大いに活躍しています。



消防戦士住警器マンと寝タバコマン

(3) いわき市住宅用火災警報器設置推進連絡会の設 置

当連絡会は、住警器の設置を推進し、住宅火災
による死傷者の低減を図ることを目的として平成
22 年 3 月に設置し、第 1 回の連絡会を同年 5 月
14 日に開催しました。

連絡会は民間と行政の委員 10 名で構成されて
おりますが、建築士会いわき支部長 蛭田修二様
にも委員として住警器の設置推進について特段の
ご協力をいただいております。

3 設置推進方策等について

いわき市における住警器の推計設置率は、平成 21
年 12 月時点で 35%、平成 22 年 6 月においては 45.1%
で、設置率は伸びてはいますが、全国平均と比べると
まだ 13 ポイントほど低い状況にあります。このため、
消防本部としては、町内会や自主防災組織などの団体
に対して共同購入の働きかけを積極的に行っており、
義務設置となる平成 23 年 6 月 1 日までは全国の設
置率と肩を並べたいと考えております。

皆さんはもう設置されたでしょうか。未設置の方は
お早めに、すでに設置された方は、お隣やご近所にも
お声をかけていただきますようよろしくお願いいたし
ます。

がけ条例と斜面災害



いわき地域学会顧問
工学博士

陽 田 秀 道

1. はじめに

我が国に最も広く分布している、第三紀層には、これまでも地すべりが多く発生しているため、地域分布による分類で第三紀層地すべりと呼称されている。

昨今の温暖化に伴う集中豪雨は、想像を超えた斜面災害をもたらしているため、大雨予報の際、必ず「土砂くずれに注意」と呼びかけている。

その土砂くずれを防ぐ「がけ条例」は緩斜面は安定しているという印象を与えている。実態は緩斜面の方が急傾斜より多く発生していることを認識して頂くため、建設省の集計や当地域に発生した地すべり事例を示し、斜面災害防止や避災に備えて頂く、提言である。

2. がけ条例

建築基準法関係条例規則等「解説」7頁に「がけ」の定義を明確に図解し、擁壁の安全性の確保から擁壁の構造、排水設備の規定が設けられている。

(1)定義を図解したのが図-1である。

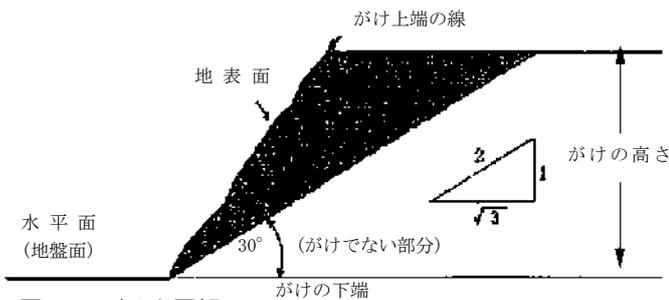


図-1 がけを図解

(2)図-2は、高さ2mを超える「がけ」に安全対策を講じない場合の建築制限である。

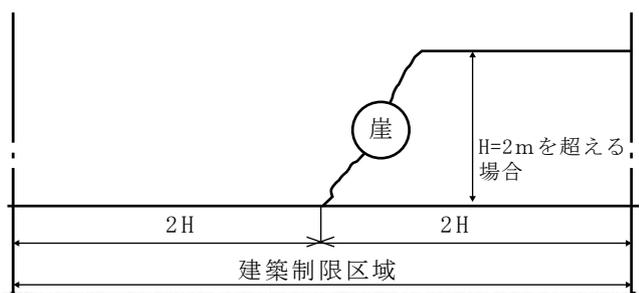


図-2 がけ下の建築制限を図解

解説でも、勾配30°以下の緩斜面には全く触れていない。斜面長の長い緩斜面に破壊が多く発生している。特に人為的破壊が顕著である。

一方、急斜面は永い間、雨水や地震などの外的誘因に耐えられるだけの地盤物性（安全性）を有している。従って、破壊が生じた状態は斜面の表層崩落が多く、深層崩壊のような深部からの破壊は少ない。

3. 斜面勾配と地滑り件数

筆者は早くから、緩傾斜ほど滑る確率が高いという認識で対処してきた。

建設省集計によれば、昭和52年度の第三紀層の地滑り斜面は20°以下の勾配のものが非常に多く、43%を占めているのに対して、20°～30°の勾配では38%、30°以上の勾配では19%にすぎない。（「土木建設技術書33」山海堂）

にも拘わらず、平成元年9月施行のゴルフ場開発事業指導要綱第4条別表6には「現況地盤の傾斜度が、30°以上である開発区域の土地については、原則として区画形質の変更を行わないこと」と規定されている。（この文言はゴルフ場亡国論という著書に記述されている）

4. 斜面崩壊（のり面崩壊）

地学事典（平凡社）によれば、斜面破壊のうち地すべりに比較して小規模で、急傾斜部分で比較的急速に斜面が破壊するものを斜面崩壊と呼ぶ。類似語として崖崩れ、山崩れ、土砂崩れなどがある。

斜面崩壊には崩壊土砂が原形をとどめず崩落するものと、ある程度原形を保ったまま地すべりのように滑落するものがある。前者は自然斜面や切土斜面が急傾斜の場合に多く、表層崩壊ですべり面が明確でない場合が多い。後者は比較的緩傾斜で、深部に弱層を有する場合に見られる。この種の崩壊と地すべりの間に明白な区別はつけられない。

自然斜面の崩壊は急傾斜であればどこでも起こり得るが、一般的には表土、強風化岩、崩壊土に多く、豪雨などによって誘発される。のり面崩壊には図-3のようなものがあり、それぞれに対策が必要である。

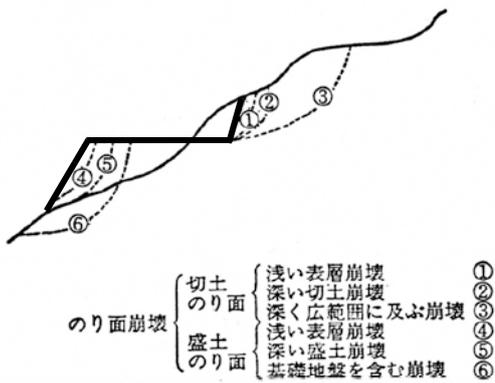


図-3 のり面崩壊模式図

5. 「盤膨れ」も「地滑り」も岩の風化から

いわき市を中心とする新第三紀層の未風化泥岩上に、直接建てた住宅や工場の地盤に、最高で48cmも隆起する「盤膨れ現象」が発生した。筆者は、その機構を硫酸還元菌・硫黄酸化細菌・好酸性鉄酸化細菌の協調作用、即ち生化学的風化作用であることを解明した。¹⁾²⁾

生化学的風化作用に関連した文献では、次のように記述されている。

(1)地学事典(平凡社, 1992)では「深層風化は岩石層が10m以上の深さまで風化を受ける現象。」「風化機構は地下水の影響もあるといわれているが、よくわからない。」とある。

(2)安藤武(1963)³⁾は、「地滑り地帯では、広く一般に各種の細菌・微生物の繁殖が認められる。嫌気性バクテリア・好気性バクテリア・緑藻類である。硫酸塩還

元バクテリアが地滑り地帯の粘土の中に広く繁殖している。地滑り地帯はこの種のバクテリアの繁殖にとって最も恵まれた条件にある。」と説明。

(3)村上由記(1999)は、日本初の地下生物圏シンポジウムで「岐阜県東濃地域の地下840mの地下水から1cmにつき10万~100万ものバクテリアがいることを確認した。」と発表。(それらの菌は、筆者(1995)が突きとめた三種類の菌であった。協調作用という食物連鎖のような営みで、深海成堆積岩である有機質や黄鉄鉱を含む泥質岩に多く同棲している。)

(4)千木良雅弘⁴⁾は、「地表近くの岩盤の力学的性質について堆積性軟岩の場合、割れ目の存在より岩石の風化度合いに支配される。」と指摘している。

平成22年7月、NHKで放映された深層崩壊は、それを物語っているようで、流出してむき出しになった大塊の表面は黄色く酸化を表していた。大塊が埋もれていた原位置周辺の岩石も同様に風化していると考えられる。

盤膨れの被害地盤を掘削した際、微生物類の活動によると思われる黄色く変質した粘性土を撮影した。風化機構と微生物の因果関係については今後の研究に委ねるとして、筆者は地盤の安定性を判定するため、岩石の酸化度合いをマクロ的に知る手法が必要であると結論づけた。

そこで、湧出する地下水は透過した岩石層のデータを保有すると考え、斜面崩壊地の地形勾配と地下水のpHを調べ、代表的なものを表-1に示す。

表-1 斜面崩壊地のデータ

分類	個所名	地形傾斜	湧水		泥岩		備考
			pH	伝導率(ms/s)	pH	方解石(%)	
1	中央卸売市場	12° 30'					抑止杭+勾配緩和
	上荒川運動公園		6. ⁵⁰				抑止杭 (pHは後日測定)
2	田場坂	7° 34'	6. ²¹	61. ⁷⁰	3. ⁴	1~5	アンカー工法
3	久ノ浜配水池	2. ⁶⁰ ~7. ⁷⁰	5. ³³	9. ¹³			字入大場の計画断念
	〃	15° ~20°	7. ⁰³	10. ²⁵			同上を字中野に位置変更
	S団地	5° 42'	6. ²⁰				抑止止杭+特殊工法
4	成沢片寄1・2	16° 23'	6. ³⁵ ~6. ⁶²	5. ³² ~5. ⁴⁴			2カ所のデータをまとめたもの
	大利下ヶ屋敷	4° 23'	6. ⁴⁴ ~6. ⁷³	7. ⁴⁴ ~17. ⁴⁵			6カ所 〃
	泉町字台	7° 10'	6. ⁵				抑止杭+強制抜水
	K工場	20° 03'			3. ⁴	ND	抑止杭
	Iタウン	20° 03'	6. ⁶⁷	73. ¹⁰	3. ³	ND	抑止杭
	桜ヶ丘配水池	18° 13'			3. ⁸	ND	斜面整型(鏡肌崩落)

ND: 未確認

注: 分類1は地質調査のデータがないので設計図のみで破壊することを予知。2はデータを基に潜在を予知。3はデータを基に着工前に設計変更した。4は破壊発生後の測定値

6. 潜在する深層風化帯の予知法

筆者の判定目安は地表勾配 30°未満の緩傾斜で、地下水の pH6.5 以下の場合、深層風化帯が潜在すると考える。pH6.5 より高く、pH7.0 未満の場合はボーリングによる精査も加味する。これらのデータと破壊に相関性があると分かった。この手法を潜在する深層風化帯の予知法として提案する。

地中に滑り面が形成されていなくとも、深層風化帯の存在は、誘因次第で深層破壊に至る確率は極めて高いと考えられる。そこで、判定に際して、注意すべき 2 点を次に示す。

(1) pH が低下した地下水は岩中の方解石 (CaCO_3) を溶解して、再び pH が高くなることがある。その現象の有無を知るため、電気伝導度の測定値を判定に加味する。

(2) 地下水を採取できない調査地では、ボーリング等の精査を行って、コアの酸化速度 (常温) が大きいもの (事例として、10 月 5 日は 6.0 から 10 月 12 日で 3.9 まで低下した) は危険側にあることを加味する。緩傾斜でも、地下水の pH を優先 (表-1, 分類 3 の字中野) する。

7. まとめ

従来の航空写真解析や現地調査による、地すべりの可能性 (安定性) の判定法は、かなり高度な知識

を必要としている。しかし、筆者が提案する、地下水の pH を加えた予知法は、若手技術者にも容易に判定可能となり、調査費の低廉・調査時間の短縮に期待出来る。

特に、予知が困難とされてきた初生型タイプ (これまで周辺地域に地すべり形跡のない地内に初めて地すべりが発生するものをいう) に有効である。

斜面災害防止には、がけ条例の訂正は喫緊の課題である。と同時に傾斜地の安定性に関して啓蒙活動が必要である。

引用文献

- 1) 山中健生・宮坂秀一・庄子和夫・陽田秀道：微生物が地盤の隆起の原因になっていることを探る実験的研究，鉱物学雑誌，第 26 巻第 2 号，pp.77～80, 1997.
- 2) 陽田秀道：新第三紀層泥岩の生化学的風化現象と被害，土木学会論文集 No.617/Ⅲ-46, 213～224, 1999.
- 3) 安藤武：地滑りにおける泥岩の風化機構，応用地質，Vo I .4, No.1, pp.3～23, 1963.
- 4) 千木良雅弘：軟岩の風化作用，建設工事における風化・変質作用の取扱い方，土と基礎，Vo I .40, No.8, pp.71, 1992.

日本建築の再評価で活路を開く

いわき支部広報委員会
矢内秀幸建築設計室

矢内 秀 幸



今日の建築界のこれまでにない閉塞感、ゆきづまり感を実感せざるお得不い状況の中で、私は上記の〈日本建築の再評価で活路を開く〉と言う考えに至った。これに到達した過程を過去、現在、未来の道筋で述べてゆきたいと思う。

1945 年 8 月 15 日、日本は第二次世界大戦で敗戦というかたちで終わった。何しろ、全ての物が不足してしまった。衣、食、住、何でも強く求められた。戦後が一応治まってくると、日本は国民の技術力、勤勉さ、低賃金の労働力等によって日本製品の輸出は増大していった。そして朝鮮戦争時には、我が国の経済は輸出の更なる増大によって活況を呈した。人口増加が伴い、建築は国民に歓迎されながらどんどん建っていった。この頃は工業化時代だが、建築

の生産分野では機械化が進んでいるとは言え、未だ、〈手〉が直接、建築という〈物〉と関係を持つ場があった。又、生産組織もこれまでのものとそんなに変わっていなかった。このようなことから、紙人 (設計者)、鉄人、木人、土コン人達は仕事にやりがいがあったし、夢と希望を持つことができた。ちょうどこの頃、20 世紀初頭からル・コルビュジェ、ワルター・グロピウス、ミース・ファン・デル・ローエ等によって提唱され、試みられ、広まっていった主流の近代建築、国際様式と名付けられるほどのこの建築様式が日本に取り入れられた。ヨーロッパの伝統的な壁に囲まれた空間を打ち破って、流動性、連続性、開放性を主張するこの近代建築は、伝統的日本建築の壁が無い柱間による空間と一部通じるころがあった。そ

う言った空間のことよりもそれ行けそれ行けの状況での建築人達は近代建築に単一性、均一性、簡易性、量産性を見え出し、それを国内全域に広めて盛んな需要に応じていった。上記の単一、均一、簡易、量産と言った我が国の近代建築に対する一般の安易で表面的な捉え方は、工人達の手を建築から引き離し、作る手ごたえを取り上げる要因として感じられるようになってきた。だが、建築は政府の継続的公共事業による景気維持政策によって相変わらず作られ続けた。

ところが、今日の我が国は少子高齢化、高度情報化、グローバル化、アジア近隣諸国の台頭などによってことごとく落ち込んでしまった。この余りにも大きい落差、前もって打つ手が何か無かったのだろうか、悔まれてならない。

今日、建築は前の工業化時代に沢山作られた事と少子高齢化が主な理由で量は十分に満たされている。従って、特別に必要視されない。別の用途の建築が必要ならば既存建築を再利用すれば事足りるのである。紙人、鉄人、木人、土コン人は腕を振るう領域は狭まり、機会は減少してしまった。これまでのような建築の魅力は薄れてしまっている。極言すれば、建築はあまり意味を持たなくなったのである。近頃の住宅の傾向を空間の扱い方から見ると、開口部を出来るだけ小さくした見場の良い外壁で囲われている閉鎖空間である。難しい社会とは関わらないで自分だけの世界に居たい、と言うように感じ取れる。そこの住人はITで社会と繋がることによって住

宅空間の閉鎖性を補っているのである。建築の量は満たされている、質はITが補ってくれる。このように現状を認識しているのだがどうだろう。

これからどうすれば良いのだろうか。それは空間の質に関する考え方の提案である。即ち、〈日本建築の再評価で活路を開く〉である。日本建築の本来から持っている空間の特性は内部同士が繋がって外部に開けてゆく連続性、流動性とそこから感じるアイデンティティーである。地場産や国内産の木材で作られた連続流動空間に居ると自分は何者か、何処から来たのか、何処に向かって行きたいのかと言った自分自身と日本人としての固有性、同一性を感じるのである。こう言ったことから、数少ない新築、増築、改築はもとより既存建築を改修して別用途に使用する場合も、この日本建築に具わっている〈アイデンティティーを感じる連続流動空間〉をとり入れる考え方をすべきではないかと思っている。これは日本人のDNAであるから皆も共感するだろう。鉄人、木人、土コン人もやる気が出てくるだろう。最後に申し沿いたいのだが、工業化時代に安直に広くもてはやされた主流の近代建築、これを見直し、読みなおす必要があると思う。何故なら、前に述べたように、日本建築と或る意味では通じる連続流動空間だからである。この連続流動空間に日本人のアイデンティティーを加えられないだろうかと常々思っている。

日本建築を再評価して皆で活路を開こうではないか。

無言のパートナー

NPO 循環型社会推進センター
いわき地区県営住宅管理事務所

後 田 守



私は、大工の棟梁の息子として生まれ育ち、60年間「木材」とのかかわりを持ってきました。

当時は、「山師」と言われる材木店の社長が、山を見て立ち木を買い、伐採、寸切り、皮ムキ、製材を行い丸太や角材にして、我が家の庭先に運び、大工の職人達が曲がり金を手に額に汗して加工していました。そのたびに、木材特有の香り、木肌の色、また成長の証である年輪や板目、柾目の不連続の模様の中に人の心を引き付ける何かがありました。

また、加工中に発生した小口の木材は、焚き木と

して、お風呂や釜戸の燃料として使い、時間と共にその炎は暖かなオレンジ色を発生し火力が増し、生活の臭いを運んでくれる大事なものでした。残りの「灰」は畑での野菜づくりに利用され、自然界の連鎖であり再利用そのものでした。その後、建築士として実際にお客様の家づくりに携わるのです。お客様のニーズに従い、「機能性・安全性」「デザイン」「経済性」などを考慮しながら納得のできるプランの作成をして提案してきました。それは、家族の幸せな生活空間であり幸せな時間の流れを得るに足りるものでし

た。

しかし、最近のニュースでは、社会の格差、人間社会のひずみとして、自殺者や、家庭内暴力の増加、登校拒否、ひきこもりなど人間そのものが破壊されてしまう環境があることです。それは、私たちの提案し目指した便利で効率的都市機能、個人重視の恵まれ過ぎる生活環境の中にも存在し、人間としての心と感覚とのバランスが欠落している社会がいつの間にか形成されてきたことに問題があると思います。その中で建築の持つ役割も大変重要であると感じます。

こうした時期に「鉄人、木人、土コン人」のテーマで一筆提案できる事は、今日の社会の状況で、まとを得た企画と考えました。以前「法隆寺を支えた木」(西岡常一、小原二郎)を読む機会がありました。そのまえがきの一行に「鉄とコンクリートに囲まれ、ガラスとプラスチックを使いながら、なにかいらだちといったものを感じはじめている。そしてときとして、木のような素朴な材料に心を惹かれ、それと静かに語り合いたいと思うことがある。」一説があります。

それは、人間の精神的な要素である人情(自然に備わる人間の愛情)を変える力が建築材料には存在する事です。それは化学物質を含んだ建材などで問題になったシックハウスのアレルギー、アトピー、

喘息、精神的な適応障害などを生じやすいとされた事でもわかると思います。すなわち、私たちの生活空間は常に自然界の土、木、石、水、空気、風、雨、光、星座、宇宙などとの共存で成り立っているのです。

鉄、木、コンクリートなど建築材料の成形前の姿は自然界の単体の物質であり、そこには目に見えない「神の力」が存在し、私たち人間と無言の協定がなされているとさえ思えます。

私が幼少の頃は、正月に「山の神」や建築の守護神「聖徳太子」(詳細は郡山開成山大神宮左側奥に記念碑あり)にお参りし、鉄工所では「韃祭り」として「火の神」を尊重し、工事の着工にあたり地鎮祭や氏神様の奉納など、私たちの生活の中に見えない自然界のエネルギーや物体との橋渡しを神々が取り持ってくれているのです。

最後に私たち建築に携わるものが衣食住の「住まいづくり」を通じて、住んでいる人々が「幸せ」であり「笑顔の絶えない生活空間」の提供はもちろん、空間を構成する建築材料においても出会った多くの神々のエネルギーを家族の皆さんと共有できるように最善の提案をすることにあると思います。

今、地球環境の問題が大きく取り上げられている時、春夏秋冬の自然の営みと語り合える地域づくりや家づくりのコンセプトが求められていると感じます。

ご一緒に夢の実現を

石井企画株式会社
代表取締役

石井 武典



いわき建築士会の皆様、会報28号誠にありがとうございます。

会の誕生以来、休むことなく発行を続けられ、本当に素晴らしいことと感嘆しております。

今回は鉄人28号に因んで元気の良い夢のある話を寄稿しろとのお言いつけによりまして、元気の無い私ですが、元気のある商品の誕生をお知らせしたいと存じます。

生みの親は(株)未来住建とあって、愛知県安城市にある会社です。

営業部長の速水英雄様から熱いメッセージが届きましたので、早速ご紹介申し上げます。

どうぞ、皆様もご一緒に夢を実現してみませんか。

スターターマンションの誕生について

平成48月1日に施行された新借地借家法で定期借地権が創設され、21年12月末までに約75,000戸の定期借地権付住宅が供給されました。

最近は公有地でも定借利用した住宅等が供給されてきましたが、まだまだ普及は全国的には不十分です。

地主には安心・安全な土地活用で、購入者には無理のない住宅取得が可能な定期借地権付住宅なのですが、何故、なかなか普及が進まないのでしょうか？ まずは供給サイドの地主の理解を高めるのが一番だと感じ、地主に魅力的な定期借地権での土地活用をと考えました。



そこで誕生したのが、SGA システム＝スターターマンション事業です。

S = safety →安心・安全な

G = ground →土地

A = application →活用

以前にマンション販売をしていた経験があり、マンションの欠点を知っていました。

- ①マンションは購入した時点で資産価値が下がります。いわゆる中古扱いになるわけですが、その下げ値はとて大きい。3割は当たり前であります。
- ②大都会の駅前立地ならマンションは最適な建物なのですが、地方の住宅街でのマンションでは車が必要であり、維持管理費用がとて高くついでしまいます。又将来の修繕費用の捻出のため積立を余儀なくされます。
- ③居住空間が狭いため、家族が多くなってくると住み替えたくなります。

以上のような欠点があったので、地方のマンションのあり方に少しばかり疑問を持っていました。

地方で生活するのであれば、やはり車は2台欲しい。将来、子供が大きくなれば、戸建に住みたいと思うのではないかと思います。そうなった時に住み替えが可能なマンションとはどんなものなのか？そんな思いからスターターマンションの骨格が出来上がってきました。

また、新婚家族が新居を構えるにあたって、まず賃貸マンションに入ります。毎月家賃を払いながら頭金を溜めて10年～15年で戸建に移っていきます。そんな現状を見て、10年～15年間家賃並みの返済で完済できるマンションなら、借りるより買ったほうが得ではないかと思いつきました。保険で言えば「掛け捨て保険」か「積立保険」かの違いになります。

そして、今度は地主様へのメリットです。戸建の定期借地権の賃料はそんなに高いものではありません。

借手は、建物の返済がありますので、借地料にたくさんの地代を払うことが出来ません。そうすると、50年間もの長い間、安い賃料で土地を貸すのは馬鹿らしいということになり、貸地の供給がなくなります。どうにかして、賃料を上げたいという思いからマンションという発想になりました。平面ではなく立体にして賃料を多くする。そして、定期借地権の一時金（保証金・権利金・一括前払い賃料）の活用として自己借地を思いつきました。

12戸もしくは9戸でもそのうちの1戸を自己所有する、勿論その購入費用は保証金等の一時金を活用します。そうすることによって、収益はとて良くなります。

そういったことで、スターターマンションが出来上がってきました。スターターマンションのシステムは購入者、地主、事業者と三者にとてとてメリットのあるシステムです。

そして、地方の住宅街を想定していますので、高層のマンションは作りません。建設費を抑え、将来の修繕もしやすいように、3階建にしています。3階建であれば、戸建を回りにつくっても違和感は全くありません。その地域にも溶けこむマンションであり、その地域の資産価値を高める街づくりが出来ます。

スターターマンションは、購入者・地主・事業者・地域の方々の四者にとて、とて良いものだと思います。これは「四方良しの土地活用システム」と言て良いと思います。

最後に、スターターマンションには思想があります。入居される方々の将来の希望と健康を守るといいます。ですから、室内には自然素材を使い、マイナスイオンを発生させるKT（健炭）パネル、KT（健炭）バスを標準装備しています。マンションでは珍しい1616サイズのユニットバスを採用しているのも、足が伸ばせて疲れを取っていただきたいという私共の思いであります。

ローンの短期返済で若い世代の資産形成（ステップアップ）を支援し、KTイオンシステム等で健康を守る『若者を救うスターターマンション』事業を全国に普及させていきたいと思います。

国道 289 号国道改築工事 貝泊大橋・橋梁下部土工事

クレハ錦建設株式会社
第一事業部 土木工部

野村

みつる
暢



現在の土木工事で使用される材料は、セメントを主成分としたコンクリート及び鉄筋の占める割合が非常に高く、その中で今回はコンクリートについて意見を述べたいと思います。

現在の土木工事のなかでコンクリートが使用されるウエイトは非常に高く、逆に言うところ、コンクリートがなければ工事が進められない状況である。コンクリートは耐久性に優れており、寿命は80年～100年程度とされている。しかし、すべてのコンクリートが80年程度の耐久性があるというのではなく、コンクリート構造物築造過程において適正な施工が行なわれなければコンクリートの寿命は短くなってしまふことになる。すなわち、技術者の技量によって、コンクリートの寿命は長くもなるし短くもなるということである。

コンクリート構造物はコンクリート製造会社で製造されたフレッシュコンクリートをアジデータトラック（ミキサー車）で現場へ持ち込み、所定の位置（型枠内）に打込み硬化（養生）させ所定の強度発生後型枠を外し、コンクリート構造物として完成となる。土木工事は道路及び河川等の整備が主体工事となるが、これらの整備工事の中のコンクリート構造物に代表されるものには、トンネルの覆工コンクリート、橋の下部工（橋台・橋脚）及び橋の上部工（コンクリート桁）等がある。コンクリート構造物は橋の下部工を例にとると、近年超高層橋脚が計画されており、当社でも50m級の橋脚を施工した実績を持っている。

ここからが本題であるが、コンクリートは言い換えれば生きた材料であり、コンクリートの性質がわからなければ、製造工場ですら品質の良いフレッシュコンクリートを製造しても施工現場で、打設方法、打設時間、養生方法等のコンクリート品質の維持の追及をしなければおのずと品質は低下し、それは恒久的に見るとコンクリートの寿命が縮まるといふことになる。よって、現場技術者の技量でコンクリート構造物の良し悪しが決まってしまう、恒久的な安全が確保出来ない事態にもなりかねない。重要

なコンクリート構造物の殆どが構造体の骨組みとなる鉄筋を有しており、鉄筋コンクリートと位置付けられている。一般的にコンクリート構造物はひび割れが大なり小なり発生してしまうが、このひび割れをいかに低減するかが現場技術者の腕にかかっているとんでも過言ではないくらい施工ひび割れの占める割合が高い。ではひび割れがなぜ悪いのかということになるが、ひび割れ自体が悪いのではなく、ひび割れが発生することで、コンクリート内部に配置されている鉄筋の錆を誘発し、それが進行することで骨組みが脆弱し、その骨組み周辺のコンクリートを劣化させる。極論をいえば、構造体として保たなければならない強度が低下し安全な構造物でなくなってしまう。それを防ぐには、事前の打設計画時において、打設時の環境（天候・外気温）・打設時間・打設高さ・養生方法等を十分検討し、安全で余裕のある施工を行うことが大切ではないかと考える。

われわれ技術者は、ただ物を作るのではなく、その物が安全で長く供用できるよう出来る限り品質向上に努め、自信をもって提供できる物作りに心がけ、また、失敗しても隠さず適宜是正し、将来構造上の欠陥等から事故が発生しないようにしなければならない。

最後に、技術者は物を造る怖さを認識し、日々適切な処置を講じ安全な物造りを心がけなければならないと考える。



貝泊大橋橋梁

(一般国道 289 号) 朝日トンネル工事を振り返って

福浜大一建設(株)
現場代理人

比 佐 圭 一



一般国道 289 号は、新潟県新潟市を起点として、福島県の南会津、県南地方を経ていわき市に至る延長約 337.1km の幹線道路であり、福島県の長期総合計画「ふくしま新世紀プラン」において、地域づくりの目標「多極ネットワークの形成」に向けた、七つの生活圏を結ぶ県内 6 本の連携軸の一つ南部軸に位置付けており、今後の県土発展を支える重要な路線です。

このうち、いわき市田人町荷路夫地内の本路線は幅員が狭く、急カーブ、急勾配が連続する交通の難所となっており、幹線道路としての機能を果たせない状況となっていたため、それらの解消を目的として事業化されたのが荷路夫バイパス事業です。

荷路夫バイパスは平成 13 年度より、国道改築事業として着手した 3,600 m のバイパスで、延長 1,175 m の朝日トンネル、延長 742 m の荷路夫トンネル、延長 80 m の朝日橋、延長 331 m の貝泊大橋の整備が進められていましたが、この度平成 22 年 10 月 3 日に全線開通となりました。総事業期間としては約 10 年にも及ぶ大きなプロジェクトでしたが、工事を進める上ではさまざまな工夫や苦勞がありましたので、その一部をご紹介します。

本箇所は豊かな自然が残されている地域であり、自然環境への負担を最小化するため、延長の約 65% をトンネル、橋梁構造とし、けもの道の設置や、在来種による自然再生など動植物・生態系などの自然環境に配慮した道路（エコロード）として整備を進めておりましたが、私が担当したのは朝日トンネルに係る掘削及び本体（覆工コンクリート）を行う工事でした。そもそもエコロードとは？エコロード（Ecological Parkway）：エコロジーとロードを組み合わせた和製英語の略で、「生き物や自然環境を大切にしたい道づくり」をスローガンにし、調査・計画段階からの設計・施工・管理の段階まで生き物や自然環境を大切にすることや、工事完成後も生き物や自然環境を大切にしているかを調査し、必要に応じて改善を図る取り組みを行うなど、今まで携わってきた工事では全く無いことだらけで、何もかも手探りの状態でした。そんな中、朝日トンネルでは、計画

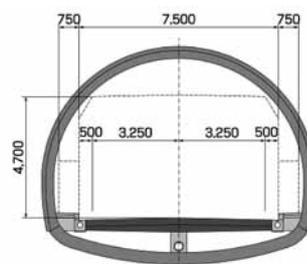
段階において重点課題としたのが、大きく 2 つあり、1 つの課題としては、トンネル掘削を行った際に坑内から必ず排出される汚れた水をいかに自然状態に近づけ排出できるかという点に関して検討しました。排水箇所であった大柴沢（戸草川）は、特に水質の良いきれいな沢であった為、かなり慎重に議論しました。トンネル工事においては、通常一般的な濁水処理設備を設置し、環境基準値的には問題ない状態にし排水しているが、当現場周辺のように特にきれいな自然な水の状態に近づけるとなると、より高度な水処理施設を設置する事が必要不可欠となりました。そこで立案、実施したのが砂ろ過装置の採用でありました。この装置は一次処理施設（前述で紹介した通常の濁水処理設備）にて処理しきれなかった処理水へのキャリーオーバー等の対策として砂ろ過設備（二次処理施設）による吸にて、浮遊物質（SS）を 10mg/L 以下（環境基準値では 25mg/L 以下）まで低減させ放流することにして設置し実着処理したというのが 1 つの取り組みでした。実際の掘削作業中では、計画時より予想以上の濁水（湧水量が増加したこと等による）が坑内より発生し、一次処理施設だけでは処理できないほどの場面が何度かあったが、今回設置した、砂ろ過装置により環境基準値内に抑える事が完全に行われ、無事環境への配慮ができました。

2 つ目の課題は、トンネル掘削時に特に崩落のおそれのある低土被り部土被りの薄い 2.0 D（D は掘削幅で 10.4 m）以下の区間が約 160 m もあった点でした。この区間においてはボーリング調査を再度行い追加調査した結果、既往ボーリング結果とは明らかに異なる砂質土化した強風化岩（未固結地山）が確認され、更には地下水位も当初想定した位置よりも高い位置にあることが判明し、トンネル掘削時において流砂による切羽（掘削断面）の不安定化が懸念されました。更にこの難所には、稀少とされるトウホクサンショウウオが生息しているなど、施工面のみならず小動物の生息域をいかに壊さないかも合わせて検討されました。この件に関しては、作業に直接従事する人々の命にも直接関わる重要な課題であったので、対策

工について積極的に提案を行い、トンネル専門技術委員会、事務局会議、その他検討会など三者協議を幾度となく開催したり、支保パターンの変更や補助工法採用の現場検討会を約50回にわたり開催する等、検討する機会を多く設けより慎重に施工した。また、情報化施工に基づき内空変位や切羽状況の変化を迅速かつ適切に分析・判断するなどして何とかこの課題に関して問題なく対応することができました。

平成20年1月29日に切拡工(地山掘削)を開始し、翌年の平成21年6月11日(延べ499日間)に無事貫通させる事ができました。私にとって貫通の瞬間に吹き込んできた荷路夫の風は、とてもすがすがしく感動的で、それまでの苦勞を何もなかったかのように一気に吹き飛ばすほどの、何事にも変えがたい貴重な経験となりました。

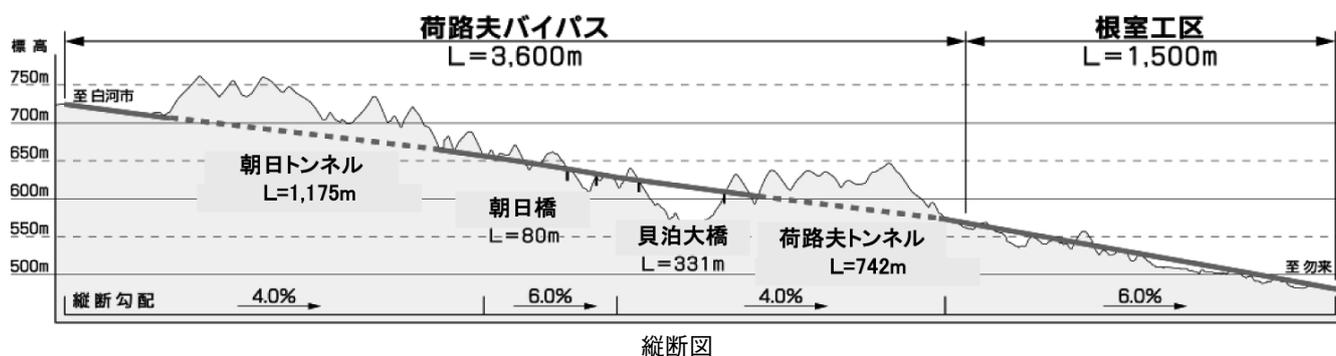
今回の工事を通じ、自然との共存・調和した道作りが如何に難しく、大切であるかをあらためて知ることが出来たことは、今後自分が生きていく術としてかなりプラスになったのではないかと思います。身近なところから、自分がその時々に行うことができるかを十分考え、今後もさまざまな工事に邁進してまいりたいと思います。



朝日トンネル断面図



朝日トンネル工事施工中



縦断面図

屋根を通じて

(有)古川瓦建材
一級かわらぶき技能士

古川 宏之



私は瓦屋育ちの瓦職人です。この仕事に就いたきっかけも、幼少の頃から、職人の親父が現場に行くと言うと、真っ先に身長よりも高いトラックの助手席にちょこんと乗りこみ、現場に連れて行ってもらうのがうれしかったことにあったかもしれません。今思えば、現場に行きたいのではなく、トラックに乗りたかっただけなのかもしれませんが……。また、屋根で使う粘土で遊んだり、置いてある鬼瓦をいた

ずらして割って叱られたり、親の日常の会話から仕事の話が自然に耳に入ってくることが多く、瓦が身近だった事から物心もつかないうちから、家業を継ぐという意識が芽生えていたのかもしれませんが。

あれから30年たち、約20年近く瓦職人として生きて来た私の屋根を通じての思いを書きたいと思います。「屋根の仕事」と言うあまりなじみがなく、どんな内容なんだろうと思われる方も多いと思いま

すので簡単に説明してみます。仕事の種類は大きく分けて2つあり、新築工事とメンテナンス工事に分けられます。

まず一つ目の新築工事（木造）では、建物の屋根下地が出来ると現場に入り、住宅建築が着工して早い段階で瓦屋根工事が完了します。一つ付け加えると、屋根下地が出来るとちょっと前の、骨組み段階の時に「瓦割り」（瓦の寸法を考慮し屋根の寸法を決める）と言う重要な現場打ち合わせがあり、屋根が出来ていない桁や梁の上にあがって、実寸法を測り、下地が完成する前に寸法の調整や仕上がり、雨仕舞いなどを現場監督、大工さん、建築士さんと入念に打ち合わせをします。

余談ですが、私は高いところが苦手なので、屋根にあがってしまえば、板が張ってあり、真下が見えないので大丈夫なのですが、瓦割りの時は骨組みだけなので、足下から地面が丸見え……。なんとも言えない気持ちになります。

話を戻しますが、屋根工事のみならず、長持ちする良い住宅を作っていくためには、現場の工事担当者、業者間のコミュニケーションが職人の技能と同じくらい重要で大切である事を私は現場で学びました。

次に二つ目のメンテナンス工事の内容です。新築工事との大きな違いはお客様が直接依頼してくるという点です。依頼されてくる方の8割は築15年以上で、内容も様々ですが、やはり「雨もりして……」の依頼が多く、現場に伺い、雨もりの状況をお客様からお聞きして、何が原因なのか、色々な角度から検証していきます。なかには、「屋根にあがらないとわからないんですか?」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、私は確実に原因を特定させるために、必ず屋根にあがり、あがってみないと発見できない瓦



の状態、下地の状態、全体の納まり、取り合いなどを点検することになっています。さらに、周辺的环境などにも目を配り、雨もりの原因を確実に特定していきます。この仕事が終了した後、雨もりの原因をお客様に伝え、「どんな直し方で」、「どのぐらいもたせることが出来て」、「どのぐらいの金額がかかるのか」、お客様の要望をお聞きしながら、専門職としての意見も交え、ベストな工事を考えていきます。

読んでの方のなかには「専門なんだから長持ちするように雨もりを直せばいいんじゃないの?」とシンプルに考える方もいらっしゃると思います。確かに、住宅だけを考えた場合、長持ちする工事をすればそれでいい。しかし、その住宅に住んでいるお客様が望んでない工事だったらどうなるのか?たとえば築40年で条件が同じAの住宅とBの住宅が2棟並んで建てており、屋根の修繕依頼を受けたとします。私がお客様の要望やお話を聞かずに、工事側の判断のみで「葺き替え工事の見積もり提案」をしたと仮定します。A住宅のお客様は「まだまだ住みたいので是非お願いします。」と言われました。B住宅のお客様からは「すいませんが、一年以内に解体して、ほかに移る予定なので、葺き替えではなく、別な方法ないですか?」と違う返事が返ってきました。Bのお客様からすれば当然ベストな提案ではなく、結局、要望を入れた提案を再提出することになります。極端な例ではありますが、メンテナンス工事ではお客様が知らないプロとしての意見とお客様の要望を良く考察したうえで提案しないと、内容が良くても的外れな提案になってしまいますので、事前によく話し合い納得のいく工事をすることがベストです。私は職人ですから、現場でいい仕事するのは当たり前です。そこに住むお客様とコミュニケーションを大切に、ベストな方法を考え工事をし、お客様に満足して喜んでいただくことが今の自分のモチベーションでもあります。新築工事、メンテナンス工事どちらの仕事をするにも住宅にとって屋根は家全体を守るとても大切な部分です。少しのミスも許されない確実な工事をしなければなりません。このことを肝に銘じ、技術の向上に努め、お客様に「あの瓦屋さんに頼んで本当によかった」と喜んでいただける瓦職人として、がんばりたいと思います。

久々の表参道ヒルズ

植松建築設計事務所
広報委員会

植松 美知子



安藤忠雄先生設計の表参道ヒルズ（同潤会側）



安藤忠雄先生にきらわれた私
2005年4月24日いわき市文化センターにおいて

今年5月16日から6月24日まで東京世田谷の小田急線沿い駅前のマンションで暮らしました。平日、休日にかかわらず、駅前商店街は、老若男女問わず、沢山の人が、賑やかでした。狭い路地を人を掻き分け自動車が、ゆっくり通っている。道路は、バリアフリーでも、なんでもない小さな段差が、沢山ある。いわきの街中の方が、ずっと、安心して歩けると思いました。木梨憲武の実家の自転車屋さんの辺りは、お爺さんもお婆さんも元気に歩いています。

平日のお昼を食べに表参道に出かけました。4年ぶりでした。（前回は、2006年10月15日日曜日）意外や意外、表参道のあの坂道も、表参道ヒルズの中も、4年前の、あの、賑わいは、無かったです。やはり、平日のせいなのか？ 表参道ヒルズの中のレストランも閑散としていました。以前よく仕事で神田に行った時には、お昼時は、いつもどこも、食事処は、いっぱい、活気がありました。ここは、ビジネス街では、ないからかしら？ それでも、少し人が並んでいるお店を見つけました。今、はやりの産地直送自然野菜のレストラン、田舎から出て来た私のようなおばちゃんグループとやはり私のような、母娘孫、そして、私と同じ一人で、食事に来た同年のおばちゃん。店内も、同じような人で、女性がほとんどでした。まあこのお店柄、そうであろう。が、しかし女性は、元気で、たくましいと思えました。これから女性は、ビジネスの最大のターゲットになると感じました。草木台ヒルズ（これは、私がそう言っているいわきの草木台の坂を

登った天辺）の直販所、田舎んぼには、自然野菜が沢山あり、私は、いつもここの野菜を食べています。

話を元にもどしますが、表参道ヒルズの建物と坂道の接しているところには、側溝ほどの幅で深さと言いましょうか、厚みとでも言いましょうか、2cm位のところをきれいな水が流れています。透明の蓋が掛けているところもあれば、そうでないところもありますが、掃除がいきとどいているのでしょうか、とてもきれいな水の流れです。水の流れ及び水しぶきは人の心を癒します。

この水は溢れないのか、どうしても雨上がりのこの水の様子がむしように知りたくなり、大雨が降ってみないか祈りました。祈りが届いたのか、三日後の



表参道ヒルズの側溝



表参道ヒルズの水瓶

6月18日全国的に大雨になり(困った人もいらっしゃるかもしれませんがごめんなさい。)早速翌日10時頃雨上がりの表参道ヒルズに出かけました。(雨は9時頃には上がりました)あの水の流れは、溢れているのか?どうなっているのか、なんと、それは、ちゃんと計算されていてきれいに流れていました。あの街路樹も雨上がりで青々ととてもきれいな街並みでした。

表参道ヒルズの同潤会アパートの先公衆便所の先に緑色の二等辺三角形で高さ1m位のきれいな水瓶がありました。この水は飲めませんとの看板がありました。何かの再生水を使用しているのでしょうか?この水瓶

は全体強化ガラスブロックで出来ている様に見えました。上には1枚板のガラスの蓋がしてあり、3辺のサイドのガラスブロックの隙間から水が心地良く流れ、この水があふ表参道ヒルズ前の水の流れでした。安藤先生の水へのこだわりがこの大都会の真ん中に、あのように表現され、日本庭園に面しているようにも見えました。(つくばいの感じ)

表参道のあの計算し尽された街並み、同潤会アパートもしっかり溶け込んでいるし、いつも近くでばかり、見ていたので、道路の向かい側から街路樹をはさんで同潤会アパートを見てみたくて、9月11日また、日帰りで表参道に出かけて見て来た、街路樹の向こうの同潤会アパート(今はアパートではないけれど)もとても良かったです。いわきから日帰りで東京に行ける、いわきは最高の立地条件ではないでしょうか?(島根生まれの島根育ち、横浜で少し暮らし、いわきに来た私。)日本中の、あの元気いっぱいの女性達をいわきに引き寄せる何かが、いわきには、あると思います。関東圏は日帰り出来ます。いわきの駅前もきれいになりました。先日東京で少し暮らしていわきのよさが分かり、いわきに沢山の女性を惹きつける何かを見つけないとつくづく感じました。表参道ヒルズに通い、いわきのよさを知り、ビジネスチャンスをつかみたい。と考える日々が私の楽しみです。

情報・ITの鉄人 — 孫正義 —

工藤設計代表
広報委員会

工藤正樹



2010年11月、ソフトバンクの孫正義社長は政府のICT*1政策「光の道」構想において、「IT立国による日本の新たな成長」と題し、政府関係者、国会議員の前に講演を行った。

「光の道」構想とは、老朽化が進む電話線(メタル回線)を光ファイバーにすべて置き換え、税金を1円も使わずに、インフラの整備を行ない、都市部や地方の隔て無く、30年後の日本を見越した電子教科書を使った教育変革、医療クラウドを使った医療改革などの基盤を作ろうとするものだ。実現に向けて様々な問題や課題がある中で、現状を変えようとする努力、将来への夢や希望が明確に表現されているが、なによりも、国やNTTという組織に対し、氏のはっきりと物を言う姿勢は、見ていて清々しい。

20世紀、私たちの先人は敗戦後の焼け野原から青春とも言える昭和の時代を駆け抜けた。洗濯機、冷蔵庫、テレビという家電製品が誕生し、資源に乏しいと言われる日本は、技術力で先進国の仲間入りを果たした。最先端の技術と知恵で世界と戦い、技術立国として産業を支える、まさに「電気」の時代であった。

21世紀を迎え、情報・通信技術が発達し、インターネットが普及した今日は、まぎれもなく「情報」の時代である。「安藤忠雄」と検索欄に文字を打込めば、膨大な数の画像やその作品に瞬時に触れることができる。テレビや新聞以外にも沢山の娯楽やメディアが生まれ、インターネット放送や動画配信も行われるようになった。最近ではtwitterにて、政治家や有名人本人の声を、リアルタイムで直接見ることができし、

本人に直接言葉を届けることも可能だ。氏の言う30年後の構想が実現した日には、さらなる夢や希望が広がるだろう。

私たちは、建築士という夢のある職業に従事している。ICT分野よりも、もっとはっきりした形で、思い描く夢を具体化し、形として表現できるのに、そうでないことの方が多い。夢や希望を語ることも少なく、コストや納期が優先している。厳格化という言葉になびくように、一元的で計算や数値を優先した建物が目立つ。安心・安全を掲げて制定された法律が、横並びを目指すかの如く、規制や制限にすりかえられてしまっている。私たちの望んだ法改正とは、決して横並

びで画一した建物を作る事を目的としたわけではないはずだ。氏を見習い、挑戦する気持ちを持たなければいけない。石橋だと思ったら叩いてないでどんどん渡ればいい。松下幸之助もそう言っている。

先人は、学ぶべき歴史や伝統、技術を次世代に繋げ、今を生きる私たちに残してきた。30年後、私たちは、立ち並ぶ建物を見て何を思うだろうか。何を残せているだろうか。業種は違えど、情報・ITの鉄人「孫正義」に学ぶべき事、生きるヒントはたくさんある。

※1 ICT: Information and Communication Technology (情報通信技術)

木材、土、コンクリートの魅力

(株)松崎設計
広報委員会

小野田 博



「コンクリートから人へ」は民主党・鳩山由起夫氏が「政権交代」の旗印に掲げて、見事に目的を果たした名言であった。マニフェストの表題にも何度も登場した時代を象徴した言葉でもあった。一年後の秋に、もはや、鳩山氏は政治の表舞台にいない。日米間の安全保障問題という首相としてのイロハの問題に答えを出せなかった。(考えていなかった)せいで、小沢氏を道連れに、戦後最低に近い評価と共に退陣したのだった。

かなり脱線ぎみに話をスタートしましたが、「コンクリートの呪い」といった副題で話を進めさせていただきます。

話を大きくします。地球上の生命体で「最善」の存在は「何」であるかとの問いに何と答えますでしょうか？。価値は多種多様で1番を選ぶのはなかなか困難に思われますので、「最悪」の存在をまず選定した方が話は簡単だと思います。私の考える「最悪の存在」は人類・人間です。理由は簡単で人類は同族殺しをするからです。人類の有史・歴史は戦争の歴史で、現代に於いても止まず、たぶん将来に於いても無くならないでしょう。犯罪としての殺人も同様に無くならないでしょう。動物は同族けんかをしますが、食べ物や種の保存の為の争いで、現代社会の理由の無い殺人事件とは較べ物になりません。

他に迷惑をかけないで、他の為に有益な存在が「最善の存在」であると考え、動物は食物連鎖で他の

生命の犠牲の上に存在しているので、全て失格です。「最善の存在」は植物で、中でも生物として最長の寿命を誇り、最大の存在である樹木が1番であると私は考えます。植物は光合成により太陽光線をエネルギーに変える事が出来、CO₂をO₂に変えるといった地球が生命の星になる基を造り、維持発展させました。樹木は移動しないので他に迷惑をかけず、根は水分を保持し、葉は動物・昆虫の食料となり、緑の葉は美しく花を咲かせればなお美しい。紅葉は地球上で最も美しい景色です。実を付ければみんなが喜び、枝や葉は鳥や小動物の隠れ家であり。大量の落葉は土を肥やし、多くの生命の温床となっています。

樹木が他の生命に迷惑をかけない、他者を守り育み養う「最善の存在」である事に異論は無いと思われま。そんな最強の善者も100年200年1000年の寿命が尽きると倒れて朽ちる事になるのですが、その前に、先に地球上最悪の存在であると罵った「人間」の中でもましな存在である「木こり」が立つて、「やあ！なんて立派な木であることか」とか言いながら仕事を始めると、生命としての役割を終えたはずの100～1000年の樹木が再び物としての100～1000年の「いのち」を吹き込まれる事になるのです。(注1)

木こりの次ぎは木挽き、大工、消費者と手渡されて行く過程の間に。

粗雑に計画された木造住宅は25年の寿命ですが、周到に計画された神社・仏閣は150～300年周期で修

繕われて、永遠の価値を維持する事になります。法隆寺の昭和の大改修、東本願寺御影堂の平成の大改修、最近では姫路城が改修に入りました。

仏教は紀元前にインドで興り、北回りでシルクロードを経て大乘仏教に発展して日本に伝わり、伝播の過程で各地の産物で仏像が造られました。アフガニスタンの崖の岩、敦煌の砂岩、韓国の石、(カンボジアの石)そして日本の木材(銅)等がありますが、身内ひいきになります。日本の木仏像が漆喰像を含めて、最も程度が高い、有り難さが高いと思われま。その理由は日本人の器用さと、質の良い加工し易い豊富な広葉樹木材が相待ったからです。現代に伝わる仏像の有り難さは製作当時の古い時代の文化程度の高さと、長年にわたる善男善女の願いや祈りを受け止め、内包している量の多さによると言えます。^(注2)つまり木材は仏像の製作意図と維持者の想いを十全に内包し現代に伝えていて、日本を初めて訪れる外国人に瞬時に日本を理解させる力があると言えます。日本の伝統文化を満載し直接的に伝える物は木彫刻(仏像)であり木造建築物です。

家・家庭は夫婦愛に始まり子供への愛、兄弟愛、父母への感謝、老人への敬意等、愛情の塊であると謂え、住宅は各家族の愛情の形であるはず。現しになった木材は発散される家族愛を吸収保存記憶してくれるものと考えます。この機能こそが地球上最善良の存在である樹木の最も優れた機能であると思ひます。

^(注3)

最悪の存在である人間と最善良の樹木との相互補填の関係は摩訶不思議なもので、人間は木材と共に存在する事で救われ、木の家に住む事によって愛(幸福)を貯め込む事が可能なのだと謂えます。最近「家庭内虐待」「家庭内暴力」「家庭内ネグレクト」等の残念な話を聞きますが、木造、非木造の家で起きた事は調査に値すると思ひます。

土の価値

最近レアアース(稀土類)が話題になっていますが、土は岩石の細片と植物動物の遺骸の混合物です。土で出来た最高価値物は陶磁器で、中でも最高価値を誇るのは宋代に製造され、日本に持ち込まれた「曜変天目茶碗」です。世界中に数碗しかなく全て日本にあります。価値は江戸時代に一碗が一城との比較で、現代であるならば新議員会館が1棟600億円(約10万㎡)、福島市役所新庁舎が137億円(約3万㎡)です。理由日本を代表する伝統文化である「茶道」の頂点の御道具である事。中国から禅宗と共にもたらされた喫茶の習慣を「道」好きの

日本人が利休以後だけでも400年以上かけ洗練磨き上げた「茶道」文化という大山脈の頂点・象徴になっています。茶道は茶人と茶碗だけでは成立しませんので、建築業界は数寄屋・茶室を洗練する事で「茶道」の発展に貢献しました。

現代人が何人たりとも「曜変天目茶碗」で茶を喫し、茶碗をのぞき込むことが不可能なので安心して私の妄想を書くのですが^(注4)、茶をいただいた後の興奮状態で、亭主の面白い物をお見せしますとの招待文を思い起こしながら、茶碗に顔を突っ込む様にのぞき込めば、眼前には群青の闇に輝く瑠璃色の宇宙、輝く星雲群が散らばっているのが確認出来るはず。のぞき込んでいるのが茶室という狭い宇宙船のような空間と相まって。

一碗の中の凝縮された宇宙というのが「曜変天目茶碗」の価値であるならば、価値は比較するものは地球上には存在しません。こんなに素晴らしい物を製造出来たのにその価値を洗練発展保持する方法を見付けられなかった中国と、他国の文化を取り入れて洗練発展させ自国の顔にしてしまった日本との永いつき合いは味わい深いと謂えます。

同じ焼き物としてのタイル、レンガの魅力はいうに及ばず、建築材料としての土の機能魅力を再認識したいと思ひます。

コンクリートの価値

鳩山民主党政権によって悪役に仕立てられてしまった感のあるコンクリートですが、やはり正義は勝つと謂えます。生物の遺骸の堆積物である石灰岩を焼煉して出来るセメントはローマ時代から使用されていて2000年の歴史を誇る建築土木建材で、日本では明治時代初期より生産がはじまった。欧州は歴史的に南欧は石造、北欧はレンガ造、木造で、S造、RC造は産業革命以後の近代から始まり、日本は50~100年程遅れてスタートした。

コンクリートの利点は頑健で耐久力がある事で、耐水性があり虫に食われたり腐ったりしない点である。波や川の流れの様な無限に繰り返される自然現象に対抗出来、水中土中深く潜って永久に上物を支える等の仕事はコンクリート以外には出来ない芸当である。自己犠牲・滅私奉公的建材で、悪口を言われる筋合いの無い建材である。当初裏方的存在であったのが、近年は打ち放しコンクリートの普及により、美しい洗練の極地が認められている。現代的な若い世代の美意識が簡素で単純な打ち放しコンクリートをジーンズの様に見賞していると思ひます。

童話「三匹のこぶた」を現代的に理解するならば、

災禍（狼）に対してはRC造が最強であり、美しくもなり、長寿命も保証される。将来的な災禍である核テロに対して有効なのはRC造だけである。

鉄筋コンクリートが素の地球である花崗岩と鉱物を加工した鉄と生命の遺骸であるセメントの長所の協力体である事が現代的であると謂える。

鉄骨造が現代都市環境においては最も経済的に有効な選択となっているが、他の建材、木材・土・コンクリートと多種多様な建材が使用可能な日本の建設環境は恵まれた状態にあり、優れた伝統物を持ち、

改修する事で現代物に活かせる建築文化を持っている事も幸福な事と謂える。^(注5)

注1. 今年千年杉、千年銀杏が倒れたが加工細分化されて莫大な御利益物として全国に散った。

注2. 内包しているデータ量が多い。

注3. 生身の巨木には人間の邪気を払ってくれる機能がある。五寸釘と藁人形を介して。

注4. 曜変天目茶碗三碗は全て国宝に指定されている。

注5. 結論は何故か、友愛の精神です。

速報

広報委員会よりのおことわり

いわき建築士第28号テーマとして「鉄人」を挙げておきながら、鉄骨工事業界関係者の原稿が掲載されていない事の弁解。テーマは昨年11月に決定し、編集作業は4月からスタートしたのですが、しかしながら、いわき市の鉄骨工事を代表する、株式会社東北鉄骨さんは春先に倒産をしてしまいました。取材元としておおいにあてにしていた会社でしたので、ショックが大きく、別な取材先をさがす気力が出ずに鉄骨工事抜きで特集を纏めざるを得なくなってしまいました。特集テーマとして主役抜きでの編集となってしまいましたので、バランスを欠く中身となってしまった事をお詫び申し上げます。(株)東北鉄骨さんは創立50周年が近いとの話を聞いていましたので大変残念な事でした。

「鉄は国家なり」の標語のように経済の隆盛、建設・鉄骨工事の隆盛を祈念してお詫びとします。

志賀秀範氏がいわき市優良技能者表彰受賞

さる11月17日建築士会いわき支部理事である志賀秀範氏（志賀工務所代表）がいわき市優良技能者表彰を受賞されました。このいわき市優良技能者とは、十五年以上の経験を持つ満三十五歳から満五十五歳未満の市民で、同一の仕事に従事して卓越した技能を修得し、業界発展や後進の指導、育成などに尽力している市民を対象にしているものであり、十人の中の一人に選ばれました。おめでとうございます。



志賀氏は建築大工の棟梁として数々の建築を手がけ、継ぎ手において「立竿車知継ぎ手」と呼ばれる独自の継ぎ手を用いるなど大工技能に秀でております。さらには、いわき市立美術館において木造廃船の復元展示作業や作家との共同作業により作品を制作する等、芸術面にも造詣があります。また、いわき市暮らしの伝承郷において「家を造る道具と虎の巻～伝承建築のひな形～」と称した開館記念イベントで伝承建築の生い立ち、建築物の計画から造営までの諸種に及ぶひな形、用途別による大工道具の歴史を展覧し、盛況をおさめています。建築士会においても、広報委員長、青年委員会副委員長を経て平成8年から現在に至るまで理事として活躍しています。

青年委員会 飯高新司

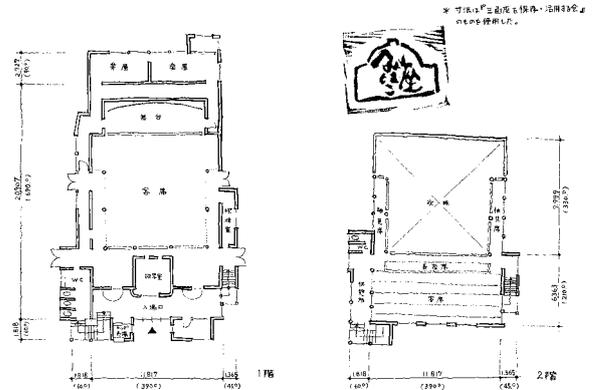
映画館「三函座(みはこぎ)」

いわき支部副支部長 広報担当 常磐開発(株) 仲井 健

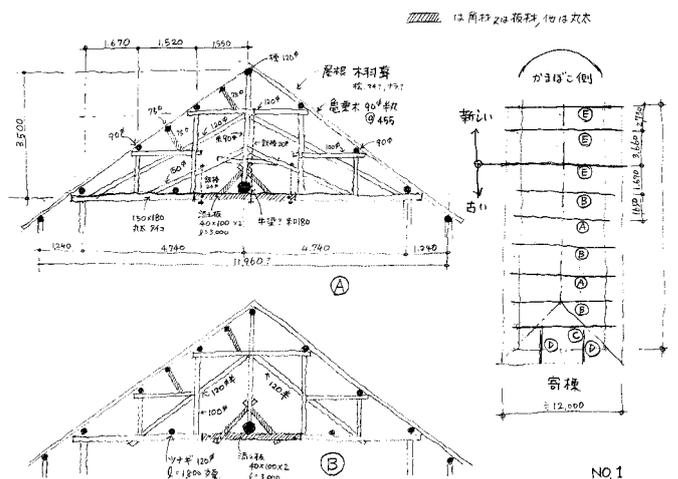


去る5月の夕刊いわき民報にその記事は掲載された。内容は明治期に建設され昭和57年に閉館された常磐湯本町三函の映画館「三函座」の再利用を検討する目的で、検討委員会が発足された記事でした。私事ではありますが常磐地区に20年勤務している傍ら、恥ずかしい話「三函座」の存在する場所さえも、いままで知らないでいました。たまたま検討委員会主催事業による建物の構造や変遷などを学ぶ建物見学会がある事を知り参加する事となり、その建物の魅力となぜ取り壊さずに現在まで保存されたのか、謎に迫る事が出来ました。

そもそも、明治30年(1897年～)常磐線が開通した同じ年に、芝居小屋として建てられました。大正7年(1918年)に映画館に造りかえられ、昭和57年(1982年)までの113年もの間、映画ばかりでなく色々な催し物も行われてきました。平成19年には、国の有形文化財として登録され、建物正面から見た外観は、かまぼこ型のつくりが印象的であります。建物自体は、木造スレート葺き2階建ての建物。建物の内部に入って見ると当初そこが客席であったと思われる空間が広がっており、正面には舞台上段に当時のままとと思われる映写用スクリーンが残されてありました。今回は、検討委員会の方で二人の先生(下山眞司氏・夏井芳徳氏)をお招きし、配布された資料(平面図・断面図)を基に、当時材料としてどんな材料が使われていたのか、又、どんな構造になっていたのかなど、その当時の思いとなる分野で解説をしてもらいました。



三函座 平面図 1/150



構造自体は、木造構造体が主体となっており屋根部である小屋裏は、当時の小屋組として保存されていて、ただし、それが明治期の建物を取り壊し造りかえたのか、当時の建物を残して造りかえたのかは不明という事でした。小屋裏の構造体は、木造の切り妻屋根と端部は数奇屋屋根で構成されていて、小屋梁としての屋根中心部にわたされている末口180φの丸太の梁は、牛梁(注1)として、小屋梁を支持している。その他にも古い木組みには丸太で組まれていて、垂木は丸太を半分にした亀垂木が手鋸で挽き、手斧で調整されていました。又、屋根には、木羽葺きで葺かれた杉皮などが使われ、ところどころ補修・補強はされていて、その頃の当時を思わせる骨組となっていました。

今回、三函座の再活用検討委員会を立ち上げた傍

ら、現在の所有者も地域住民達も三函座の復活を望んだものの、有形文化財として指定しているほか、各種法（建築基準法・消防法）複雑に絡み、商業施設としての利用が難しく、又、建物自体の老朽化が激しく、このまま保存・維持させていくのは相当の資金と地元住民達による同意が必要になると感じさせられました。

た。明治から平成の時代を駆け抜けて、湯本の炭鉱の町を見守ってきた映画館なので、出来る限り保存の方向で行ける様、せつに思う筆者の願いであります。

(注1) 牛梁

日本民家で桁行方向にいた太い梁で、小屋梁を中間で支え支持するための梁。

いわきアリオス

いわき支部広報担当 矢内秀幸設計室 矢内 秀幸



アリオスはH20年4月に第1次オープンし、H21年5月さまざまなステージプランに対応できる中劇場

が完成してグランドオープンしました。

H22年1月、米国劇場技術協会建築賞優秀賞を受賞しました。更に北米照明学会 照明賞優秀賞（同年5月発表）、国際建築賞2010（同年7月発表）、第51回BCS賞（建築業協会賞）（同年7月発表）です。誠にありがとうございます。

グランドオープンから1年を過ぎた6月、いわきアリオス事業報告会(平成19年度～平成21年度)「ベチャクチャ集会」に出席しましたが、アリオスの施設からいわきのあちこちに出かけて行つての催しも在るなど、実に多彩な催しを意欲的に企画し、実行してきたことが分かりました。

又、市民の方々がアリオスを核として、いろいろな活動を元気にやっていることも知りました。ですから、市民のアリオス活動の輪が大きくなってゆくことを期待しています。

冷泉寺



小名浜古湊の冷泉寺が竣工後、2年を過ぎて周辺工事も完了しすっかり周りの景色に馴染んできた。

丘の上に立つお寺なので、近くからも、遠くからも良く目立つ。濃紺の壁、若者の髪型の様な漆黒に鬆を入れた様な屋根、ステルス戦闘機が待機する様な全体

の印象と、さすがに日本を代表する建築家の仕事は格好が良い。

冷泉寺の設計者の隈研吾氏は、東京スカイツリーに続く東京都民の話題、世界中に日本を発信する事になるであろう新歌舞伎座の設計者として、日本を代表する建築家となった。氏の作品の特徴である、自然素材（木材、石）を活かす事、表現が細かく繊細である事、結果として幽玄な日本情緒が醸し出せている事等、超高層ビルと並立しなければならない新歌舞伎座の設計者として最適な人物である。超高層ビルの存在を消してしまう様な技を持っていると期待したい。

安藤忠雄氏の絵本美術館、隈研吾氏の寺院、いわきアリオス、国宝「白水阿弥陀堂」といわき市の建築環境は富んでいる。格好が良い冷泉寺境内は子供達が好む場所であるに違いなく、良い影響を与えらると思う。

(H20)

確認申請書等で訂正の多い事項について

民間審査機関 「鉄人62号」

先日の10月22日（金）の午後、新舞子ハイツにおきまして当センター主催によります平成22年度「建築物の安全安心セミナー」を開催しましたが、定員90名のところ、104名の申込みがあり、盛況に終えることができました。

法改正もあり、情報の共有に対する関心の高さに驚いたと共に、ご多忙のところ出席賜りました皆様方へ心より感謝申し上げます。

当セミナーの内容としましては、①昨年の10月1日より引き渡す新築住宅は、「住宅瑕疵担保責任保険」に加入することが義務付けされましたが、今年の春より、中古住宅においても保険に加入することが出来るようになりましたので、その保険の紹介。②エコポイント請求のための、証明、請求事務を行っておりますが、その手続きで質問の多い点の説明。③この6月に基準法が改正されましたが、その改正点及び確認申請業務において質問の多い「既存不適格建築物への増築」について説明をさせて頂きました。次週の月曜日にセミナー出席者、数名の方に「参加して今後の業務の参考になったか」、「内容は良かったか」をお尋ねしたところ、「説明の仕方が早く理解できなかった」、「2階への増築はできないと理解した」という回答もありましたので、増築、その他に関して、疑問のある方は、気軽に相談してください。お茶を飲みながら、ゆっくりと説明させて頂きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、鉄人62号が「いわき建築士」第28号に投稿し、発信したかった内容は、その安全安心セミナーにおいて、時間の制限があったため、話ができなかった確認申請書等で訂正の多い事項を記したいと思います。確認申請を提出して、是正なしで翌日に確認済証を手にする喜び、及び建築士としてのプライドを保つためのもの？でありますので、参考にさせていただきたいと思います。

確認申請書等で訂正の多い事項

A 確認申請書

1 確認申請書 第二面

①構造建築士、設備建築士の欄が無い古い様式が多

い。

②設計者「作成・確認した設計図書」、工事監理者「工事と照合する設計図書」に図書の記入漏れが多い。どちらも（確認申請に係る設計図書一式）と記入してください。

③工事施工者 建設業許可（ ）に福島県知事又は大臣の記入漏れが多い。また、建設業登録の更新されていない年月日番号が記入されている。

（般17-〇〇号）は、5年毎の更新でありますので、今年度が更新時期です。更新中の場合は、更新手続き中、〇月頃許可予定と追記してください。

④備考 工事名等の記入漏れが多い。

2 確認申請書 第三面

①3.都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等「市街化区域」の記入漏れが多い。

②5.その他の区域、地域、地区又は街区「法22条地域」の記入漏れが多い。

③7.敷地面積 法52条第1項及び第2項による前面道路の幅員からくる容積率の低減をしない申請が多い。住居系で前面道路が4mの場合の容積率は、160%となります。

④13.建築物の高さ等 最高の高さ 図面と整合していない申請が多い。

⑤14.許可・認定等 「開発行為許可年月日番号」、「都市計画課合議」、「2項道路、道路位置指定年月日番号」の記入漏れが多い。

3 申請書 第四面

①16.その他必要な事項 「地盤調査を行い基礎の構造方法を決定しました」の記入漏れが多い。

②10.床面積 階別F1がP1になっているのが多い（新申プロ）

③11.屋根 認定番号漏れが多い。（特に、コロナル、ポリカボネード等製品名の場合は必ず認定番号を記入してください）

④12.外壁 屋内側仕様（PB9.5mm等）の記入漏れが多い。

4 申請書 第五面

① 2.階→F1がP1になっているのが多い(新申プロ)

B 図面関係

1 案内図

- ①方位の記入漏れが多い。
- ②敷地周辺用途の記入漏れが多い。

2 配置図

- ①隣地境界線を敷地境界線と記入されている申請が多い。(基準法上 敷地境界線は無く、隣地境界線、道路境界線です。)
- ②がけがある場合 がけ指針の○条、又は開発行為による擁壁等 がけ所見等の記入漏れが多い。
- ③道路名、接道長さの記入漏れが多い。
- ④敷地と道路 隣地との高低差の記入漏れが多い。
- ⑤方位の記入漏れが多い。
- ⑥角地の場合 建築制限ラインの記入漏れが多い。
- ⑦第一種低層住居専用地域 外壁後退ラインの記入漏れが多い。
- ⑧道路扱いしない道路がある場合 「建築指導課協議済 協議年月日」の記入漏れが多い。
- ⑨ 42条2項道路の場合 「指定 年月日番号」の記入漏れが多い。また、道路中心線の記入漏れが多い。
- ⑩路地状部分の接道長さ 路地状部分の一番狭い部分が接道長さとなりますが、隅切り部分を含めた接道長さの記入が多い。

C 建築工事届

- ①地名地番の記入漏れが多い。

②工事監理者欄が無い古い様式が多い。

③面積、金額等の記入漏れが多い。

④建築主、除却業者の印漏れが多い。

D 計画変更の場合

①申請書 第三面

14.許可・認定等 前回の「確認年月日、番号」の記入漏れが多い。

②計画変更の概要(理由を明確に記入してください)

- 配置変更による場合 ○側に○○m移動(2方向に移動の場合は、2方向の寸法を記入してください)

- 面積増による場合 床面積○○㎡増 1F床面積○○㎡→△㎡

③備考 住宅火災警報器の表示漏れが多い。計画変更の概要を入力すると火災警報器が消えてしまう場合がありますので、再確認してください。

その他、細かい部分はまだまだありますが、紙面の都合上この程度にいたします。ご不明な点がございましたら、鉄人62号に相談してください。分かりやすく説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

最後に、確認申請、適合証明、まもりすまい保険、住宅性能評価、長期優良住宅の技術的審査、エコポイント証明、エコポイント請求、とワンストップでサービスが可能な当住宅センターのご利用を、今後ともよろしくお願いいたします。

寄稿

思うこと (一級建築士になって)

クレハ・錦建設

佐藤 聡 美



中学校の頃に「将来の夢」というテーマで作文を書かされたことがあります。多くの人が一度は書かされたことのある作文のテーマだと思います。当時の私が最初に思いついた職業が建築士でした。両親共に建築士なので一番身近な職業だったことや、祖父も大工であったため、私の周囲が常に建築と触れ合っていた環境であったのがその理由だと思います。しかし、小学生の頃、将来の夢についての作文を親に見せると、「苦勞するから、建築はやめたほうがいい」と言われ、がっ

かりしたこともありました。昔は建築科に進む女性は一学年に数名だったそうですが、私の時には男女比3:1くらいの割合まで増えてきていました。最近では、建築現場でも色々なところで女性を見かけるようになり、昔に比べると、徐々に仕事の中で男女の仕事の区分がなくなってきたように思います。おかげで、親が心配したほど大きな苦勞をしないまま、現在なんとか建築の仕事させていただいています。

一級建築士を取得するまでに最も大変だったのは、

勉強する時間を作ることでした。私は夜型のため、仕事が終わった後夕食を食べてから寝るまでの時間が、集中して勉強することができる時間でした。そのような中で、休みをとって勉強をしている人や、仕事の合間に勉強時間をとって勉強している人を見ると、自分には時間がないような気がしてしまい、余計に焦ってしまうことがありました。製図の試験の時には、7月末に学科試験が終わってから製図の試験日までおよそ2ヶ月強の日数しかないため、毎日シャープペンを握りしめて図面を描き続けました。ほとんど手描きの図面を書いたことがなく、線を引くことにも戸惑ってしまい、書いたり消したりを繰り返していました。最後まで綺麗な図面は書けなかったものの、最初にトレースだけで7時間かかっていた図面が、徐々にスピードアップして行き、最終的には3時間で描き挙げられるまでに縮まった時は非常に嬉しく思いました。一つのことをやりとげた、という点からは試験前に比べると、少し自信がついた気がします。

製図の試験勉強中に時間短縮の裏技として、定規を使わずにシャープペンだけで図面を書く方法を教わりました。この方法は、エスキスで時間がかかりすぎた時にでも図面を短時間で完成できるため、最終手段又は保険として用いることが出来たため、心にもゆとりを持って試験に臨む事が出来ます。試しに、他の受験者の手描きの図面を参考に見せてもらったところ、とても格好良く、案外普通に描いた図面にも見劣りすることもありませんでした。私もさっそく練習で挑戦してみたものの、見ていると不安になるようなひどい図

面が出来上がってしまいました。試験前までは手描きで図面を書けなくても、業務としてはCADを使って描ければ十分だと思っていましたが、この時によりやく手描きで図面が描けることの大切さがわかりました。CADを使用するとどうしても作業が短絡的になりやすく、ただ単に線を引いて図面を書くといったようになりますが、手描きであれば線の濃淡や線の幅等1本1本にそれぞれ重要な意味を持つことに気づいたからです。今でもまだ手描きの図面作成は苦手なままですが、打ち合わせの時などにさらさらとフリーハンドで綺麗で分かりやすい図面を書きながら説明できるよう目指していきたいと思います。

資格取得後の変化としては、仕事先で会った相手から受ける反応が少し変わったように感じます。私自身は資格取得前後で中身はほとんど変わっていないのですが、相手側の期待度、信頼度が上がったように思います。ただ、それに伴い相手より要求される内容のレベルが上がり、十分に満足させられる答えを自分で出せないことが増えてきました。最初から期待をされていないときよりも、少しは期待を受けた分、自分としても今まで以上に責任をもって相手に答えていきたいと思うようになりました。

私の建築士としての能力はまだ未熟なため、資格としてではなく職業として建築士とは恥ずかしくて言うことは出来ませんが、堂々と自分は建築士だと言うことが出来るようこれから沢山経験を積み、責任をもって仕事に取り組んでいきたいと思っています。

寄稿

サッカーの楽しみ方

広報委員会
（有）蛭田修二建築設計事務所

浦木 祐作

忘れかけてはいませんか？我が日本代表は世界のベスト16です。

今年は世界的なイベントが開催されました。FIFA南アフリカワールドカップ2010です。松井が躍動し、本田が得点をし、鬨莉王、中澤のCBが体を張り続け、駒野がPK戦で涙を流したあの大会です。岡田監督の采配が見事の中した大会と言っても過言では無いでしょう。結果良ければ全てヨシ、サッカーは結果が全

てということを再確認出来た大会でした。

ところで、サッカー観戦の楽しみ方をご存じでしょうか。野球と違い動きが速く、休む暇のないサッカーは見ていて疲れます。どうせ疲れるなら楽しみたい！ということで、サッカー観戦の楽しみ方のポイントを考えました。

サッカーの何を楽しむのか。楽しみ方にも色々あります。得点、失点シーンや、様々な場面でのテクニッ

ク、スーパースターやイケメンの活躍ぶりなど様々です。なにより、サッカーの醍醐味は応援するチームが得点をして相手を負かすことです。知らないチーム同士での試合でも応援するチームは必ず決めて下さい。特に、強いチームを応援することをお勧めします。強いチームでないと『相手を打ち負かす』という楽しみが半減します。

①試合開始前

試合開始前は様々な情報を与えてくれます。先発メンバーや背番号、ポジション、怪我人の情報もあります。4-3-3などのフォーメーションシステムの情報も聞き逃してはならない情報です。4-3-3というのはディフェンダーが4人、ミッドフィルダーが4人、フォワードが3人となります。この数字にはゴールキーパーは含まれません。ゴールキーパーはチームに一人とルールで決まっているためです。

フォーメーションシステムには決まりはありません。監督の考え方により決定しますが、世界的に流行があります。今回のW杯での日本のシステムは『4-1-4-1』という出場国の中でも珍しいものでした。ディフェンダーと守備的ミッドフィルダーの間に超守備的ミッドフィルダーを入れるというとても守備的な形でした。

ポジションの画面ではキープレイヤーがどこに配置されているかを確認します。試合中は自由に動き回りますが、大抵は配置されたポジションの近くにはいるはずです。

②試合開始

勿論、得点シーンも醍醐味の一つです。それ以上に、得点シーンまでの流れの方が楽しみどころ満載なのです。まず、ボールウォッチャーにならないことが大事です。得点するにはボール周辺以外のスペースでの味方の動きが重要になります。ボールばかりを見ていてはオープンスペースにいる味方の存在が分からなくなるのです。ボールをキープしている人が、シュートなのか、良い位置取りをしている味方にパスをするのか、自分との考え方の違いを楽しむことがサッカー観戦です。自分との考えと違う選択をして上に、判断ミスという結果になってしまった場合は容赦なく罵声を浴びせてみましょう。叱咤激励を行ってこそ、真のフットボールファンです。

フリーキックやコーナーキックの場面では、相手ゴールキーパーや、『壁』の位置、オープンスペー

スに注目です。ゴール前にいる味方に合わせるのか、オープンスペースを狙い、走り込んで来る味方に合わせるか、直接ゴールを狙うのか。ゴールを奪うというプレーは判断が多岐にわたります。味方の考えと一致して初めて芸術的なゴールが奪えるのです。

このように、ボールばかりを追って観戦しては楽しさが半減してしまいます。

次に、『個人的』と『組織的』というチームスタイルの違いも楽しめます。日本サッカーは完全なる組織的サッカーです。幼い頃より組織的なプレーを指導されています。『組織的』というのは各個人が約束事に応じて連動するということです。例えるなら、相手のボールを数人で囲んで奪う、というプレーこそ組織的そのものです。一人が相手の行き場を限定し、その行き先にもう一人の味方が詰めて行きボールを奪う、この二人の組織的なプレーの積み重ねが日本の特徴です。

ボール支配率というデータも画面に表示されます。支配率が低いチームでも得点を奪い、現時点では勝っている！ということも多々あります。弱小チームが勝利する、それこそがサッカーなのです。2010年W杯の日本代表の結果が典型的な『低支配率勝利』でした。

③試合終了後

試合終了後は勝敗の余韻が最も楽しめますが、監督、選手のインタビューも聞いてみる価値があります。監督はどんな考え方、作戦で試合に臨んだのか、選手の場合は得点した状況の話がとてもおもしろいです。

今後の日本代表は、2011年1月にアジアカップ、7月には南米選手権（コパアメリカ）に招待されており、注目する大会が今後も目白押しです。大型テレビの前で応援すれば気分はフィールドプレーヤーです。

(サッカー歴24年)

ロスタイム情報：12月2日に次の次のワールドカップ開催地が決まります。楽しみに待ちましょう。



「会員増強に向けての取り組み」について

いわき支部青年・女性委員長
大森事務所所長

大森 仁



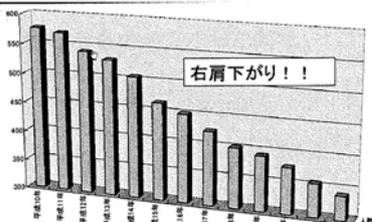
平成22年6月4日(金)、第27回「青年の集い」(以下「集い」)に参加した。今年の「集い」は福島市飯坂町「ホテル聚楽」での開催であった。

例年同様、開会・挨拶に続いて「発表会」が行われ、須賀川支部「風流のまちづくり」、猪苗代支部「猪苗代町 色いろ“彩” 発見!」につづき、当いわき支部でも「会員増強に向けて」と題して発表した。

他支部の発表内容は題名を記して紹介に変え、ここでは当支部が発表した内容をご披露させて頂き、「会員増強」が喫緊の課題であるという現状の分析と、それに向けての将来的な事を皆さんにもご一考いただければと考える。

現在、いわき支部における会員数は正に「逆比例状態」で減少まっしぐら、インド人もびっくり!(古い……?)の状態である。下図は発表当日使用した資料で、平成10年から平成22年のいわき支部会員数をグラフ化したものである。いかに激しい勢いであるかわかりただけだと思う。小さくて誌面では見づらいかと思われるので数値を記載する。縦軸上端は600人、下端は300人、横軸左端が平成10年、右端は平成22年である。今から12年前、平成10年には550人を優に超える会員が参加していた会が、ここ10年ちょっとで300人に迫るほど減少している。

現在の状況をチョッと分析



10年間の会員数の推移

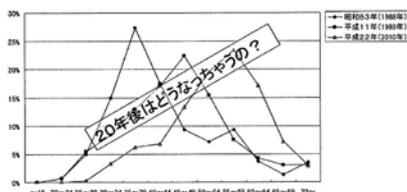
2010/5/12

建築士会いわき支部

5

単純に、景気悪化に伴い経済的・精神的余裕をなくしているというのが一義的な原因と考えることができそうだが、果たしてそれだけであろうか。下の図を見ていただきたい。

現在の状況をチョッと分析



2010/5/12

建築士会いわき支部

6

この図は、約20年前・約10年前・現在の、会員の年齢構成比をグラフ化したものである。たまたま手元に平成11年の会員名簿(生年月日付き)があったため思いつきでつ

くってみた。

ここでも、誌面では見づらいかと思われるので数値を記載する。一番左の山が昭和63年の名簿によるもの、真ん中が平成11年、一番右の山が現在のものである。縦軸は構成比で下が0%、上は30%である。横軸は年齢層で、一番左が19歳以下、そこから5歳刻みで一番右側の70歳以上まで刻んでいる。

昭和63年では最も構成比が多い年齢層は30代後半であった。それが10年後の平成11年では40代後半へ、現在は50代後半へときれいに動いていることが読み取れる。これから察するに、20年後は70代後半の層の構成比が最も高くなる……。のは、いろいろな意味で問題があらうかと思う。また、グラフの山の左側の面積、若年層の部分が時代を追うごとに窪んでいっていることも読み取れる。

つくるまでは、まさかここまできれいに数値に表れるとは思わなかった。まさにインド人もびっくりである(くだい……?)。以上のことから、単に会員数の減少だけではなく、会員の高齢化も毎年ごとに進んでいる状況なのがおわかりいただけるであろう。このままで行くと、組織としての弱体化はあつと言う間だね母さん、である。

会員数の減少は、直接的には会費収入の減少になり、会費収入の減少は現在とりおこなっている事業の縮小へと繋がる。事業等を縮小することで、建築士会へ入会することのメリットが薄れ、それが、さらなる会員減少に結びついていく……何とも恐ろしいことだ。

現状を打破するために最も早い手段は若年層の会員数を増やすことではあるが、言うのは易し行うは難し……である。

昨年から、建築士会いわき支部では「継続的研修会」と題して、会員・非会員を問わない定期的な研修会を行っている。小規模な研修を継続的に行うことにより、建築士会に入会するメリットの一つである「人とのつながり」に参加者の皆様につくっていただくことで入会者を増やそうという目論見である。会員(特に若年層)を増やすべく、研修のみならず研修後の懇親会実施など色々苦心しているが、正直な所なかなか結果にはつながっていかない状態ではある。なにぶん即効性のある事ではないので、引き続き辛抱強く続けていきたいと考えている。会員である皆様にも、奮ってのご参加(懇親会含め)をお願いしたい。

現在直面している会員数減少という問題は、単に組織としての弱体化ということだけではなく、組織そのものが実体的には消滅してしまう可能性まではらんでいる。会員の皆様には、周りの方々へ新規入会の勧誘活動を進めたいことと、会員増強に向けての良いアイデアを支部へ寄せていただくことをお願いし、本文を終わらせていただく。

乱文失礼しました。

● 建築士会いわき支部通常総会 60 回開催



去る5月21日に建築士会いわき支部第60回通常総会が、スパリゾートハワイアンズ「ラピータ」にて、総会参加者48名参加の出席で開催されました。今年、建築士会60周年という記念すべき年に、常磐・内郷・好間支部が担当となり、今回初の宿泊付き（希望者のみ）の支部総会となりました。

総会内容は、始めに支部長挨拶より会員拡大に向けての施策の提案等。又、平成22年度より二級建築士等指定登録機関の申請業務についての説明。並びに全国大会が平成26年秋に本県で開催されるなどの話がありました。その後、常磐支部を代表し吉田議長より、開会宣言に始まり総会の各号議案による慎重なる審議が行われました。

又、今年、役員改選の年でもあり、理事会承認による新役員構成が発表され、新役員のおのおのが各立

場を確認しました。総会後の懇親会においては、渡辺市長様、矢吹市議会議長様、他関係団体を代表する来賓者にご臨席を賜り、会員を交えての楽しい懇親会となりました。矢吹市議会議長の乾杯の発声の後に、第一のアトラクションとして、ハワイアンズフラガールによるフラガールショーは、ムード漂う穏やか雰囲気気分をさせてくれました。又、第二のアトラクションであるフォークライブショー（風の森 伊東満紘氏）やマジックショー（いわきマジシャン倶楽部 ダンディー鈴木氏）は、それぞれの特性を生かしライブショーにおいては、'70年代のフォークソングを披露。マジックショーにおいても、目の前で繰り広げられる数々のマジックの技法に会員共々楽しんでいました。

懇親会も盛会に終えた勢いで、二次会の方も多数の会員の方々に参加頂き大変有難うございました。二次会後の宿泊者達だけを囲んでの三次会も盛り上がり、支部担当会員の皆様においては大変ご苦労様でした。最後に平成23年度は、いよいよ県総会が「いわき」で開催される事となり、今回以上に事前の打ち合わせ段取りが大変となります。

支部会員皆様の今後の絶大なるご協力を宜しくお願い致します。

開催担当責任者 仲井 健

● 県女性委員会参加報告

第21回福島県建築士会「女性のつどい」は郡山支部担当で6月26、27日に郡山市熱海町「清稜山倶楽部」で開催されました。テーマは「アーキ・ウー輝くとき」～いま、光と風を感じて～でした。1日目は開会式と活動報告、記念講演会、制作発表「光を創る、再び」、懇親会で出席者は全体で42名、いわき支部からは6名でした。

つどい2日目は、ケヤキの森散策と鞍手茶屋での昼食であった。

あわただしい日常を忘れ、ゆっくり朝食を味わった後 いよいよケヤキの森散策に出発した。だいたい歩くのかと思えば、宿を一步でと、もう入口であった。新緑のむせるような息吹を感じ、急な坂道を少し登ると、樺の大木が見えてきた。樹齢約300年、高さ30メートル、幹の太さ2メートルを超える樺が70数本群生しているそうだ。「自然の造形美」と称されるように、大きなこぶを持ち天に向かっておもいおもいの姿で立っている。温泉街のごく近くにこのような原生林が広がっているのに驚く。しかし散策路がなかったら、私達のような宿泊客が気軽にこの場所には立ち入ることができなかつたらう。整備されたのは平成14年と聞く。またこの木立の中でコンサートも開催されるそうだ。楽器の音色に誘われて野鳥たちがさえずる様子を想像する。ぜひ聞いてみたい。帰りの出口で、源泉神社を参拝し近くの「深沢の名水」でのどを潤す。



源泉通りに出ると足湯があった。観光客が足をひたしのんびり寛いでいた。

距離はさほどなかったが、坂道の登り降り膝ががくがくし、日頃の運動不足を痛感した。

昼近くなり、車で鞍手茶屋に向かう。あいにく雨が本降りになってきた。猪苗代湖に行く途中大きな萱葺きのうどん屋があるのは知っていたが、入るのは初めてだった。明治9年頃建築された民家を移築したそうだ。幼いころの祖父母の家を思い出し懐かしさを覚える建物である。名物のけんちんうどんを始め、角煮うどん 餅など数種類の料理を注文し、皆さんととりあって食べる。

食事後、解散となり、帰路に着いた。

つどいから2カ月過ぎて今感想文を書いている。これから山々は色づき始めるだろう。紅葉のケヤキの森も訪れてみたい。

女性委員会 初瀬政子

●事業講習委員会・青年委員会合同勉強会開催

事業講習委員会・青年委員会では、会員増を目指して継続的に勉強会を開催しております。

◆平成 21 年 1 月 29 日第一回

「地盤に関する勉強会」

講師：地質基礎工業(株) 新田氏、黒森氏

◆平成 22 年 4 月 17 日第二回

(前)「エコポイント」

講師：(財)ふくしま建築住宅センター福地氏

(後)「地盤に関する勉強会 vol.2」

講師：地質基礎興業(株) 黒森氏

◆平成 22 年 6 月 24 日第三回

「杭に関する勉強会」

講師：旭化成建材(株) 木村氏、長谷川氏、沼田氏

◆平成 22 年 9 月 3 日第四回

(前)「知らないで損をするいわきの地盤」

講師：(株)ヨウタ 会長 陽田氏

(後)「法務局各種資料の使い方」

講師：大森事務所 大森氏

と四回の勉強会を終えました。

講師の方々には、報酬もないのかかわらず快く引き受けていただき、後日でも役に立つ資料まで用意していただきました。講師の皆様ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

この勉強会は当初は、会員増員するにはどうしたらよいか？ということから始まりました。入会のメリットは？やはり研修会を継続的に開催し、地道にやるしかない！と。みんなの興味のあるもの、聴いてみたい！と思う勉強会(研修会ではなく議論しあえる)をやるうとなりました。



第一回目から、入会していない方々も呼びかけ、入会申込書も配布しました。ですが、残念ながら新規入会者はありません。長い目でみていくしかないんでしょうね。とにかく、継続、継続が必要だと思います。毎回、勉強会終了後反省会と称して懇親会を催しております。質問なども飛び出し、わきあいあいとやっております。おかげで、みなさんと気兼ねなく話ができるようになりました。青年？委員会の一員として一緒に企画に携わってきましたが、私はまだまだ、手伝い係状態です。新しい話題、こんな話を聞いてみたい等の意見をお待ちしております。また、企画に加わりたい方大歓迎です。事業講習委員長鈴木圭蔵もしくは青年委員長大森仁までご連絡ください。

わたしはこの企画に参加してパワーをもらっていると思います。みなさんもぜひ、参加してください。

青年委員会 飯高新司

●“恒例になった合同芋煮会” 会員交流会「そば道場」

会員及びご家族の親睦を目的として開催し、今回で8年目を迎えたそば道場。今年も「三和の里そば普及会」の支援を頂きながら、3年目となる新耕作畑で3回のカリキュラムを延べ36名の参加を得て開催しました。



第1回は8月1日に開催し、この日は蕎麦打ちの他に、地元野菜の天婦羅を添えてスタートとしました。種まきは天候を見ながらこれ以降となりました。食後は有志で「のんぼけの森」と呼ばれる1日1坪1円で山林を貸し出す事業に参加し、移住された方を探してみました。森の中に点在する為大変困難でしたが、2地区で数軒を見つけることが出来ました。

第2回は9月26日に花見を兼ねて開催しました。そばの生育は順調で白い花が咲き残った耕作畑に新調した看板を設置しました。この日は昨年に続き事業講習委員会企画の三十三観音トレッキング終了後に合同芋煮会を行い、山海の食材をバーベキュー、芋煮鍋、さんまの刺身で頂いて大いに盛り上がりました。締めは昨年からのメニュー“ぶっかけ蕎麦”食べ放題で満腹となり好評を得ながら会を終了しました。

最終回の11月7日には、そばの刈り取りが終わり、まずまずの収穫量も確保して、新蕎麦を打つことに専念し収穫に感謝しつつ賞味しました。まとめとしては合同芋煮会が定着して来ましたので、今後は企画も合同で考えたいと思います。終わりに地元の方々および参加者の皆様のご協力に感謝を申しあげて報告と致します。

会員委員長 平野秀雄

●第53回建築士会全国大会 佐賀大会に参加して

「多彩な自然と文化が育むさかの地に学ぶ」～未来につなぐ人の絆と建築士の役割～をテーマに、10月22日佐賀市文化会館及び佐賀県総合体育館で全国大会が開催されました。私達いわき支部は9名の有志で大会に参加し3日間の研修を実施しました。例年行程に付いて空路利用の場合は近隣3県を対象に研修課題を設定して計画していますが、今年は佐賀、熊本、長崎を巡る研修として企画しました。

出発は22日いわきからJRにて羽田空港に向かい、空路で佐賀有明空港へ着陸。大会式典は会場の規模から第二会場でのスクリーンを見ながらの参加となりました。佐賀県知事のご挨拶で辰野金吾を始め明治期の著名な建築家3名を輩出した佐賀県と建築との関係についてのお話は、復元中の東京駅が思い起こされ、建築士への熱い歓迎の意が伝わって来ました。続く懇親会では、唐津市呼子の港町が有名な透明なイカの活造りを食し、ゲソは天婦羅で頂きながら、話は弾み懇親を深めました。

翌23日はジャンボタクシーで高速道路を熊本県に向け出発。まず阿蘇の広大なスケールを堪能しながらドライブして火口を見学しました。熊本県が推進する建築意匠の向上を目指す「くまもとアートポリス」参加プロジェクトの建築物が点在していて、立ち寄った「TOTO アクアピット ASO」は6棟からなる阿蘇山上公共トイレで、自然公園の中での新しい提案がなされています。次に熊本市内にて「くまもとアートポリス」に登録されている熊本北警察署を車中から見学しました。正面外壁をハーフミラーとした階段ピラミッドを上下逆にした様な外観は、公共建築物の固定概念を払拭するもので、暫し唖然として見入っていました。

次に商業施設として注目される「セカンドサイト」

に到着しました。TV映画「サンダーバード」の基地の鉄の扉が開いた様な状態で昼間は営業されていません。

この日の最後は加藤清正が築いたとされる名城熊本城を訪ねました。西南戦争で砲弾が届かなかったと言われるほどに広大な規模を有しています。創建当時の宇土櫓は国指定重要文化財で急な階段を登りこだけは内部を見学しました。

2日目の宿、雲仙温泉「九州ホテル」へは熊本港から高速フェリーで島原港を経由し約1時間ほどで日暮れと共に到着しました。

24日は朝早く長崎へ向けジャンボタクシーで出発しました。長崎に着く頃から豪雨に見舞われ屋外の見学は困難な状況となりました。それでも亀山社中記念館に徒歩で向かった4名は、坂道と階段を滝のごとく流れる雨に耐えながらも復元された建物を見学しました。また地元ドライバーさんの運転に助けられ、豪雨の中オランダ坂や狭い坂道にある名所旧跡を廻って頂き、車窓から予定した見学を終えることができました。長崎の「龍馬伝」によるもの凄い人波を避けて、昼頃に帰路につき、その余裕の時間を、新装なった羽田空港の国際線ターミナルビルの見学に当て、そこでも人波にもまれ、その後いわきへの帰路に着きました。研修を終えてもう少しゆりのある行程であればとの反省もありますが、今回は特に熊本での見学で印象に残るものが多く、機会があればもう一度訪ねたいとの思いを抱きました。結びに、来期は大阪で全国大会が予定されていますが、また新たに企画する研修への参加を会員の皆様をお願いして、佐賀大会の報告と致します。

会員委員長 平野秀雄



佐賀県総合体育館前にて



TOTO アクアピット ASO 前にて

❖平成 22・23 年度役員名簿❖

役 職	氏 名	勤 務 先
支 部 長	蛭 田 修 二	蛭田修二建築事務所
副 支 部 長	箭 内 榮	クレハ錦建設(株)
	渡 辺 智 恵 子	(有)智恵子設計室
	佐 藤 孝 男	(有)タカオ企画
	仲 井 健	常磐開発(株)
	長 谷 川 伸 一	長谷川建築事務所
事 務 局 長	佐 川 齊	福浜大一建設(株)
次 長	作 山 栄 一	(株)作山工務所
会 計	佐 藤 良 己	(有)開設計
次 長	安 齊 仁 一	常磐開発(株)
監 事	高 橋 仔 志 子	高橋彰デザインルーム
	吉 田 忠 彦	
顧 問	作 山 榮	(株)作山工務所
	佐 藤 一 三	(有)佐藤建築設計事務所
事業・講習委員長	鈴 木 圭 蔵	鈴蔵工務店
会員委員長	平 野 秀 雄	日化エンジニアリング(株)
広報委員長	小 野 田 博	(株)松崎設計
青年・女性委員長	大 森 仁	大森事務所
理 事	阿 部 勝 彦	阿部建築設計
	嵐 繁 雄	(有)嵐設計事務所
	飯 塚 静 栄	(有)寿設計
	植 松 美 知 子	植松建築設計事務所
	後 田 守	NPO 循環型社会推進センター
	岡 田 か お り	(財)ふくしま建築住宅センター県中事務所
	小 野 行 彦	シオヤ産業(株)
	片 寄 倫 二	(株)ナテック
	神 田 ま ゆ み	神田建築設計事務所
	木 村 正 志	常磐開発(株)
	櫛 田 武 伯	櫛田建設(株)
	小 室 宏 二	いわき市役所
	坂 本 樹 三 郎	いわき市役所
	佐 藤 敏 男	(株)永山建築設計事務所
	佐 藤 大	KD 設計一級建築士事務所
	志 賀 秀 範	志賀工務所
	志 賀 利 光	東建エンジニアリング(株)
	白 土 哲 也	白土建築設計事務所
	鈴 木 幸 子	工房スズキ
	出 口 浩 一	
	永 山 正 人	
	箱 崎 ト シ 子	
	平 田 茂	平田建築設計事務所
	福 地 和 博	(財)ふくしま建築住宅センターいわき事務所
	藤 田 淳 一	セザコ建築構造設計事務所
	前 田 陽 子	(株)大昌
	村 田 佳 秀	クレハ錦建設(株)
	村 谷 徹	常磐開発(株)
	村 野 司 津 雄	(有)いわき創合企画設計
	矢 内 秀 幸	矢内秀幸建築設計室
	吉 川 茂 樹	(株)邑建築事務所
	吉 田 栄 光	吉田建築設計事務所

東京スカイツリー

今年の日本の明るい話題は「東京スカイツリー」しか無かったのでは無いだろうか。新聞を見ても、新年は箱根駅伝の郷土の英雄「柏原竜二」君の快走で開けたのだけれど、鳩山首相の沖縄普天間基地をめぐる腹案の有無、オバマ大統領との食中会議、米国マスコミによるルーピー呼ばわり、小沢幹事長の胡散臭さ、オザワチルドレン・ガールズの集団訪中旅行と無反応さ、小沢氏の別の目的がミエミエの代表選挙、菅首相と仙石官房長官の大人のうそ等々。民間で起きた「死者との同居」「子供の遺棄餓死」、役所の 200 才老人戸籍。プロ野球はセ・パ共なかなかの戦国ペナントレースであったが TV の中継が少なかった。近隣諸国では瘦せた国民に支持させる太った三代目が指揮する近代兵器パレードが自慢の国、近年景気が良くて次ぎの経済世界一を目指す紅い国家の傍若無人な振る舞い。北方領土は返してくれそうも無いが、シベリアの原油開発で手招きする二人羽織の大統領と首相の居る国等こちらもロクなのがいない。

暗い世相の中で明るかったのは、予想を覆した W カップ 日本代表の以外な活躍と世界ベスト 4 とオオボラ吹いた岡田武史監督の帰国後の安心した笑顔だった。

そんな暗い世相の中を「東京スカイツリー」はすくすくと成長して行った。今秋地上約 400 m の第一展望台まで完了して、来年には一般公開される予定である。東京中から見えるし、首都高速道路からも良く見える。東京の新名所として大きな観光経済効果を発揮しているらしい。

新中央新幹線リニアモーターカー使用は東京・名古屋間を直線で 500km/h で結ぶ事が決定した。南アルプス、中央アルプスの下をぶち抜く地下鉄新幹線であるらしい。トンネル掘削技術の進歩と土地買収・環境配慮費用と移動中も仕事をしなければならない IT 時代のニーズが上手くかみ合った結果であるらしい。暗い話題の多い建設業界にも明るい話題はたくさん見付けられる。身の廻りにもたくさんあるものと思いたい。

(阿武隈山脈の白熊)

21世紀前半の最大の出来事は、2001年9.11の世界貿易センター(WTC)ビル破壊であるに違いない。イスラム教文明とキリスト教文明のせめぎあい・衝突の犠牲として2本の超高層ビルと多くの人命が失われた。(その後の制裁戦争を含めて) WTCの設計者は日系二世のミノル・ヤマサキ氏で1970年代に、アメリカ合衆国経済(国力)を象徴する・代表するニューヨーク・マンハッタンにアメリカ合衆国のシンボル(象徴)として建設された。70年代の合衆国は史上最強の国家で、その設計者が日系二世で、二本の超高層ビルであったのは歴史の皮肉であった。

繊細な意匠の超高層ビルで、最下層で1本だった構造柱が3本に枝分かれして410m、110階まで駆け上るデザインで、竹の団扇、フォークの転用である。大型ジェット旅客機の衝突に耐え、満タンの航空機燃料の火災に耐え、十分な避難時間を確保した後に2本のビル共全壊し、その光景が世界中の人々がTV生中継を見守るといった衝撃的な事件であった。

文明の衝突の犠牲になった「美しい捧げもの」WTCを設計したミノル・ヤマサキ氏をLA在住の日本人女性ジャーナリストが追った本です。(伯)

◆本の紹介「のぼうの城」和田竜著

小学館 1500円

ときは、豊臣秀吉が天下統一のため関東を攻め落とそうとしていた頃のお話です。

舞台となる武州忍城(おしじょう)、現在の埼玉県行田市に位置します。この頃忍城を治めていたのは、成田氏長。成田家十七代目の当主です。この成田氏長の従兄弟がこの小説の主人公成田長親です。

長親は、戦国武将を絵に描いたような成田泰季を父に持ちながら、その性格はまるで逆で、泰季には「あのできそこないが」とまで言われている。

だから……という訳ではないのですが、この小説のタイトルにもなった「のぼう」とは、長親のことで「でくのぼう」の略。父泰季が言ったわけではありません。図抜けて背が高く、横幅もあり身体つきは大きい、剛強であるとかいった印象はない。そして、その大きな身体でのそのそ歩き、まさにその姿は「でくのぼう」が歩き回っているかのよう。顔もどちらかと言えば醜男で、表情が極端に乏しく、めったに笑うこともないようなのだが、絶えずヘラヘラと笑っているかのような印象を与えるのだそうです。そして、ここが一番、父泰季の怒りをかうところなのかもしれないが、長親は戦国の武将でありながら、

馬も乗れないのです。馬だけではなく、刀術、槍術、体術、あらゆる武術が苦手なのです。こんな長親ですから、家臣だけでなく、百姓領民にいたるまで長親のことを「のぼう様」と呼ぶようです。

この小説の魅力は何なのだろう。それは、きっと長親という男の持つ、リーダーとしてのチカラ(隠れた力)ではないでしょうか。リーダーとは、一般的には先陣を切って軍を治めるというものだと思いますが、この長親にあっては、その種のリーダーとはちょっと違うようです。どちらかと言えば、象徴的な存在でありながら、家臣の目届かないようなところに気を配る。「縁の下の力持ち」のような存在。忍城にあっては、この種のリーダーがびったりのようでした。強がちな家臣と、利かん気の強い領民をまとめるには、長親でなければ、出来なかったことかもしれません。

最後に、この小説「のぼうの城」は2011年に映画化されることが決まっております。のぼう様こと成田長親役は狂言師の野村萬斎。のぼう様とは身体つきがまるで違う萬斎さんがどのように演じるのか、とても楽しみです。是非、一読して、映画も楽しんでみてはいかがでしょうか。戦国の熱い男たちに会える作品です。(香)

表紙のはなし

高蔵寺(こうぞうじ)

場所 いわき市高倉町鶴巻50
県指定重要文化財
磐城三十三観音霊場六番札所
安永三年建立(236年前)

浜通りに現存する唯一の三重塔です。

シャガの花でも有名で今年の5月と6月にスケッチをしながら行って、墨彩画(水墨画に色を付ける)に仕上げました。うっそうと茂る杉林の中をシャガの花を眺めながら一本の道を歩いていると突然現れる三重塔。二百有余年もそこにいて世の移り変わりを見てきた建物は今の世の混沌さに何を思うか問いたいものだ。

墨彩画のはなしを少し。

ひよんな事から郡山の墨彩画を描いている橋本広喜先生を知り進められるまま、昨年5月から月に一度の平教室に通っています。先生は版画でも有名で日本版画会会員になっており、中国、フランス、ブルガリア、韓国等にも作品が収蔵されています。そんな超多忙な先生に手取り、足取りで教えてもらっている状態です。福島なんでもない風景を切り取って絵に仕上げる様は本当に素晴らしいの一言です。皆さんも先生の絵を一度は目にしていると思います。花春酒造のCMの絵など……です。

もともと絵が好きで描いた絵を施主に記念に贈っていた私でしたが今はもっぱら習いたての墨彩画を無理やりおしつけて喜ばれて??います。事務所だけでなく玄関ホールや通路など自分ギャラリーを作って自己満足していますがもっと、もっと上達したら是非、見に来て下さい。ちなみに画会の名称は「画楽会」です。ホント楽しいですよ。

渡辺智恵子

事務局だより

本年度4月より、事務局を代行しております特定非営利活動法人フォーラムパワーアップいわきです。

当NPO法人では、いわき市内にある各団体の事務局代行を行っております。

そのため、福島県建築士会いわき支部様におかれましては、これまでの事務局内容とは変わり、会員の皆様には何かとご不便があるかと存じますが、多大なご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

NPO法人内容としては、各団体を通して、いわき市内のまちづくりやネットワーク構築のお手伝いを目的としております。各団体によるそれぞれの専門的分野を生かし、それがいわきのまちづくり発展と団体及び市民一人一人のネットワークにも繋がればと思っております。

事務局員は私一人で各事務局を担当させていただいておりますので、何かとお手数おかけする事となり大変恐縮しておりますが、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人

フォーラムパワーアップいわき

事務局：鈴木純子

TEL 0246-22-4433

FAX 0246-22-4440

海は広いな大きいな

高橋彰デザインルーム 高橋 仔志子

写真は日本海の水平線です。天気晴朗、波穏やか、18,220トンの大型フェリーは体に受ける揺れは殆ど無いが大浴槽に入ると湯船の湯がゆ～ったり揺れ、ああ船が揺れているんだ、と感ずるのでした。島影の見えない日本海側、いくら見ても見飽きない水平線です。

「貧しさも病も共に五十年夫と歩みし日々振り返る」

大病を何度も繰り返し、こんなに生きられるとは思わなかったけれど、75歳になり、今年ふるさと盛岡を離れて50年、5月に猪二匹の夫婦が金婚という節目の年でした。これを記念に何かと考えた時、それならやっぱり旅行でしようと思われ北海道旅行を企画しました。

いわきを車で出発、熊本に住む長女と新潟で落ち合い、新潟港から新日本海フェリーで小樽港へ、北見に住む二女が札幌まで来て、親子4人で稚内1泊で北見に行くという計画、いわき～北見1035キロの旅でした。娘が北海道に嫁いだお陰で様々な北の風物詩を見る経験をしてきました、一度は行きたいと思っていた最北端の地・稚内に念願適って行くことができました。

走っても走ってもどこまでも真っ直ぐな道路、電柱が少ない稚内西海岸道路、広大なサロベツ原野の中をただ



ただ走る。左側の海の向こうに利尻富士を望み、右側には風力発電の風車が立ち並ぶ感動の光景です。昭和62年12月、青函連絡船が翌年に廃止になる前にと、親子4人で初めての家族旅行で函館に2泊しました。舌癌手術後2年目、右顎部に膨らみを感じ密かに手術を覚悟しての津軽海峡でした。果たして暮れには手術でしたが、ノシャップ岬の夕日を眺めながら、今ここに4人で居られる幸せに深い感慨を覚えました。宗谷岬の碑の裏側の岩場の突端までも行き日本最北端の地を満喫しました。海の水は澄んで綺麗でした。病気は精神力で乗り越えられると信じて今迄生きてきましたが、願わくば夫を残しては逝けなと、これからも頑張りたいと思っています。

編集後記

ようやく平成 22 年が終いになって、新しい年が近づいて来ました。個人的には散々な一年でした。多くの人に迷惑を掛け、助けられて過ごす事ができました。理由を他所に求めるのは卑怯なのですが、もっといい加減なもの日本列島の上空を覆っていた様な気がしています。(過去形) 来年は良い年になるように気張りたいと思います。

来年の福島県建築士会の県総会はいわき支部で開催されます。いわき支部らしい趣向(酒肴?)を佐川事務

局長を中心に総務委員会で熟慮されています。重い、光の見えない閉塞感漂う建設業界と建築士会活動に風穴を開けようと骨折りを惜しみません。多くの会員の参加、ご協力を期待しています。さらに数年後には(社)日本建築士会連合会の全国大会が福島県で開催されます。支部会員と県会員のモチベーションを高めて、会員増強を計り、明るい笑顔で来県者を迎えなければなりません。いわきと福島県は明るい笑顔が似合うと思いませんか。今年は皆様お疲れ様でした。(海猿)

次号、第29号テーマ「災害に備える」

「災難は忘れた頃にやってくる」と言いますが、日本の行政は全力を挙げて災害に対する備えをして来たと言えます。大地震による被害が出るたびに、構造計算基準が改定され、台風や強風、その他の自然災害に対しても、復興と対策は迅速強固に行われてきた。島国火山国の「日本国」は台風進路の大通りに位置して、地震台風の災害を避け得ない。土地は山がちで狭い洪積地の平野に人口が密集しているため、自然災害の被害の甚大さも避け得ない。風光明媚・気候温暖・土地肥沃の美点と共に度重なる凶暴な地震災害と毎年の台風の襲来と、先進国では希有な地域的大量積雪の三重苦も背負っている。

適切な比喩では無いと思われるが、「日本での暮らし」は性格のきつい浪費癖のあるグラマラス麗人との暮らしの様と謂える。(女性を主体に喩えると暴力癖のあるイケメンの遊び人との暮らしとなって少々夢が無くなる。叶姉妹と羽賀某)

危険と背中合わせのジェットコースターに乗るような人生の為に、「備え在れば憂い無し」を考えて下さい。

いわき建築士

10.12 第28号

平成22年12月1日発行
 発行人／蛭田 修二
 編集人／小野田 博
 発行所／社団法人福島県建築士会いわき支部
 〒970-8026
 いわき市平字三倉69-6松田ビル1F
 NPO法人フォーラムパワーアップいわき内
 TEL (0246) 22-4433
 Eメール sikai-i@alto.ocn.ne.jp
 FAX 22-4440
 印刷所／有限会社平電子印刷所
 〒970-8024
 いわき市平北白土字西ノ内13
 TEL (0246) 23-9051